

# 気象変動を想定した基本技術の励行で品質・収量確保！

## ～ 最重点5項目の確実な実践で1等米90%！ ～

### 1. 令和5年度エコ・5-5運動の重点技術対策 太字の5項目は最重点       ：新規・強化取組

重点技術対策	具体的な取り組み
<b>高温に耐えられる「土づくり・元気な根づくり」</b>	①作土深は15cmを確保しましょう（スタブルカルチ・”回り耕ち”等） ②堆肥・完熟発酵ケイフン（イセ有機）・ケイ酸質資材による土づくりを推進 土壌分析の拡大、「総合改善展示ほ」継続設置、散布体制づくり、市等の支援事業の活用 ③稲わら秋すき込みと、もみ殻をほ場に還元しましょう
健苗育成と「良質茎の早期確保で安定収量を確保」！	①健苗育成と移植前追肥および深植えを是正し、活着・初期生育を促進しましょう ②完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填（砂質土壌等低地力ほ場）と基肥量の再点検（粘土質土壌等の高地力ほ場）を行いましょ ③5月10日以降田植えとし、8月5日以降の出穂を目指しましょう（4月20日以降播種）。過晩植は是正しましょう（5月末迄） ④水の更新や夜間落水により、ワキ防止と根の健全化を図りましょ
適期中干しによる生育調整で「倒伏させない稲づくり」	①田植え後1か月を目途に中干し・溝切りを実施ましょ ②本格的な梅雨入り前に地耐力を確保、過剰籾数を抑制ましょ コシヒカリ；地力・排水良否・生育・倒伏懸念状況に応じて2日程度早めに中干しを開始ましょ 夏季高温時の緊急灌水や秋季長雨排水対策、地耐力確保のために中干し用溝の額縁点検を行いましょ ③“小ヒビ”中干しを基本とし、軟弱圃場では強め中干しでコンバイン収穫の地固めをましょ
的確な生育診断と倒伏させない穂肥で「高温に強い稲づくり」	①葉色による穂肥診断とドローン活用で、ほ場生育の均一化を目指ましょ ②高温に耐えられる後期栄養の確保で背白粒等の白未熟粒の発生を防ぎましょ →1回目穂肥は葉色・草丈で生育診断、2回目は確実に、3回目は必要に応じ施用 →コシヒカリは地力・生育に応じた倒伏させない穂肥と出穂3日前迄の後期栄養を補給ましょ ③品質と良食味を兼ね備えた適正玄米タンパク質含量（コシヒカリ:5.5～6.0%）
高温気象下における「こしいぶきの高品質安定生産」	①完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填と生育の大型化 ②健苗育成と適正栽植株数（60株以上/坪）、深植えを是正し良質茎・穂数を確保ましょ ③生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始ましょ ④積極的穂肥による後期栄養確保上限補給で品質・収量を両立ましょ
こまめな水管理で「粒張りのよいおいしい米づくり」	①飽水管理又は間断かん水を徹底し、根の活力、葉色及び地耐力を確保ましょ ②台風・フェーン時は事前湛水し、水温上昇を抑えるこまめな水管理を行いましょ ③最終かん水日は出穂後25日以降とし早期落水をしないようにましょ
少ない農薬使用で効果的な雑草・病害虫防除	①初中期一発剤・中後期剤により水田内雑草を効果的に防除ましょ ②いもち病及び紋枯病は予防防除が基本です（フジワンモンカット粒剤、フジワン剤）
適期収穫と丁寧な選別で「全量」1等米“へ”	①収穫適期情報+②ほ場の籾黄化程度85～90%で収穫適期判断+③高温・フェーン時の過乾燥防止により、胴割粒の発生を防止ましょ（適期収穫・適正乾燥） ②選別網目1.9mmを使用して乳白粒等の未熟粒の混入を防ぎましょ ③収穫適期内に計画的に刈取りを行うために、カントリーエレベーター等の共同乾燥施設を活用ましょ

ブレーキは早めに！

アクセルは遅めにしっかり！

### 2. 育苗作業手順

#### (1) コシヒカリの作業計画

作業目安：浸種10日間、催芽2日間、育苗20日間、田植え5月10日以降

作業内容	作業期間
浸種	4月8日（土）開始～4月17日（月）終了
催芽	4月18日（火）開始～4月19日（水）終了
播種	4月20日（木）
育苗	4月20日（木）～5月9日（火）
田植え	5月10日（水）～

※5月10日以降田植えは、エコ・5-5米コシヒカリの要件です。

### 3. 令和5年用温湯消毒済種子籾の取扱いについて

- (1) 配達時期：3月10日頃より配達予定（品種により配達時期が異なる場合があります）
- (2) 保管：稲わらや籾殻の近くやむしろ等の上には置かない（雑菌の付着防止）

### 4. 浸種

- (1) 浸種場所 … 浸種水槽に直射日光が当たらないよう屋内等で浸種してください。
- (2) 水量 … 水道水などの清水で、水量は種子籾容量の2倍程度にします。  
※ 種子籾1kgに対し、水は約3.5ℓになります。 ↓■計算してみましょう。

種子籾	1 kg	4 kg	20 kg	kg
水量	3.5 ℓ	14 ℓ	70 ℓ	ℓ

- (3) 水温 … 令和5年は種用の種子籾は水温10℃～15℃、積算水温100℃を目安として下さい。

※注意※① 浸種初期の低水温（10℃未満）は、発芽揃いが悪くなります。  
② エコ・5-5の場合、他の薬剤消毒籾と一緒にしないでください。

- (4) 水の交換 … 浸種初日から1日おきに交換してください  
※モミガードC等の薬剤消毒済み種子籾は、消毒効果を高めるため浸種開始から4日間程度は水を入れ替えないでください。
- (5) 水切り … 浸種期間中に、2回以上行なってください。  
必ず、別の台（めざら等）に移して水切りしてください。

### 5. 催芽

- (1) 催芽温度 … 30℃（こまめに水温を確認ましょ）
- (2) タフブロック剤の処理 … 褐条病・ばか苗病等の予防  
※注意：種子籾は温湯消毒済みであっても、褐条病やばか苗病等の発生を防ぐために、必ずタフブロックによる消毒を行ってください。タフブロック処理した種子籾は、消毒効果を維持するため、水に浸けたり、洗ったりしないでください。

#### ①使用方法

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用方法
タフブロック	200倍	催芽時	24時間種子浸漬

#### ②タフブロック希釈液の作り方

↓■計算してみましょう。

	種子籾4kg当り	種子籾20kg当り	②種子籾 kg当り
薬剤	40 g	200 g	②×10= g
水量	8 ℓ	40 ℓ	②×2= ℓ

裏面もご覧ください。

(3) 催芽終了

催芽の状態を必ず確認しましょう！

- ①催芽日数は1～2日を目安に、籾の発芽状態は鳩胸程度とし、  
発芽率が80%以上になったら終了し、陰干しします。
- ②種子籾の休眠に限らず、必ず催芽状態を確認してください。
- ③「こがねもち」「わたぼうし」「越淡麗」は発芽しやすいので、芽・根が伸び過ぎないように注意しましょう。



※催芽種子の冷水中での浸漬保管は厳禁です。(酸素欠乏で、根の発育が悪くなります！)

6. 育苗ハウスの準備

育苗ハウス周囲に小排水溝を掘って排水を良くし、育苗中のハウス内の滞水を防いでください。(ハウス内の排水が悪いと“ムレ苗”の原因になります。)

7. 消雪後の本田準備 (田面水の排水)

根域の環境改善の為、枕地などで滞水している圃場では、可能な限り小溝を切って表面排水に努め、田面の乾燥を早めてください。



【参考】H29年度宮内地域品質向上プロジェクト「砂利採取後排水不良ほ場の排水対策」  
実証圃の本田準備排水状況 (H29 JA 越後ながおか、六日市)

8. エコ・5-5 運動遵守事項

- (1) 『令和5年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」(長岡地区)』を必ず遵守してください。  
基準を満たせない場合は「エコ・5-5 米」として販売が出来ないため、慣行栽培米としての扱いになりますので注意願います。
- (2) 作付け前(前年収穫後から)の圃場内に、除草剂等農薬は一切使用できません。
- (3) 箱処理剤「ゼロカウント粒剤(わたぼうし以外の品種)」、  
「Dr.オリゼフェルテラ粒剤(わたぼうし)」は、いずれか1回のみ使用できます。  
※JA育苗センターで播種した苗は全て「箱処理剤施用済み」ですので注意して下さい。
- (4) エコ・5-5 コシヒカりは、5月10日以降田植えが要件です。  
①「田植実施日報告書」により、田植日を報告していただきます(6月)。  
②「5/9以前田植え」は、エコ・5-5 米としての販売ができません。  
※令和4年度より設けた特認制度により、申請期間(5/1~5/8)に申請し要件を満たした場合は、「5/9以前田植え(5/5~5/9)」であっても特認として認めます。
- (5) エコ・5-5 コシヒカりは選別網目1.9mmが要件となっています。
- (6) 「エコ・5-5 圃場看板」を、必ず設置してください。  
4月5日頃に看板を配布します。4月20日までに設置をお願いします。

令和5年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬 使用基準」【長岡地区】

農薬は、各剤1つの剤型のみ使用できます。

●=使用可能(重点品目) ○=使用可能 ×=使用不可 \_\_\_\_\_=新規

		農薬・肥料名	コシヒカリ こしいぶき その他	わたぼうし
育苗箱の消毒		イチバン	○	○
種子消毒(催芽時)		タフブロック	●	●
水田初期病害虫防除		ゼロカウント粒剤	●	×
		Dr.オリゼフェルテラ粒剤	×	●
水田 除草剤	初期剤	ソルネット 1キログラム剤または エリジャン(乳剤・ジャンボ)	○	×
	初中期一発剤	カウシルエナジー(1キログラム剤・ジャンボ・フロアブル)	●	●
	中後期剤	クリンチャー(1キログラム剤・EW・ジャンボ)	○	○
		クリンチャーバス ME 液剤	※1	
	バサグラン(粒剤・液剤)	○	○	
害虫防除(共同防除)		スタークル(液剤10・粒剤・豆つぶ)	●	●
いもち病防除		フジワン (粒剤・1キログラム剤・パック・乳剤・水和剤)	※2	●
		フジワンモンカット粒剤	●	×
紋枯病防除		モンカット粒剤・フロアブル	※2	×
紋枯病防除		バリダシン(液剤5・粉剤DL・エア)	○	○
いもち病防除		カスミン液剤	○	○
稲こらじ・墨黒穂病防除		ドイツボルドーA または Zボルドー粉剤DL	○	○

※1「クリンチャーバス ME 液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグランの使用はできませんのでご注意ください。

※2「フジワンモンカット粒剤」を使用した場合、「フジワン剤」と「モンカット剤」の使用はできませんのでご注意ください。

※農薬の使用にあたっては登録内容を遵守してください。

育 苗	「稚苗苗代配合」	○	○
	「ホーネンス培土1号」、「ホーネンス培土1号 Si」、 「くみあい液肥2号」、「べんとう肥」	●	●
土づくり	完熟発酵ケイフン(イセ有機)、牛ふん、豚ふん、みつパワー、 ソイルミスター(ニューミスター)、ようりんケイカル、マルチサポトFe、農力アップ等	●	●
基 肥	「けい酸入りエコ・5-5 専用元肥」または 「フレーバーペースト 734」	●	●
	味好2号、フジミペレット 731、みらい有機 831	○	○
全量基肥 肥 料	「越後の輝き有機 50 スーパー元肥」(早生用)、 「越後の輝き有機 50 スーパー元肥 ロング」(コシヒカリ用)	●	●
中間追肥	ウォータースリカ、マルチサポトFe、スパーシリカ、けい酸加里プレミア 34 塩 化加里、ソイルミスター(ニューミスター)、ファイトアップ等	○	○
穂 肥	「けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥」	●	●
	味好2号、フジミペレット 731、フェザ-MAX、みらい有機 831	○	○

# 気象変動を想定した基本技術の励行で品質・収量確保！ ～ 最重点5項目の確実な実践で1等米90%！～

## 1. 令和5年度エコ・5-5運動の重点技術対策 太字の5項目は最重点 \_\_\_：新規・強化取組

重点技術対策	具体的な取り組み
高温に耐えられる「土づくり・元気な根づくり」	①作土深は15cmを確保しましょう（スタブルカルチ・”回り耕ち”等） ②堆肥・完熟発酵ケイフン（イセ有機）・ケイ酸質資材による土づくりを推進 土壌分析の拡大、「総合改善展示ほ」継続設置、散布体制づくり、市等の支援事業の活用 ③稲わら秋すき込みと、もみ殻をほ場に還元しましょう
健苗育成と「良質茎の早期確保で安定収量を確保」！	①健苗育成と移植前追肥および深植えを是正し、活着・初期生育を促進しましょう ②完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填（砂質土壌等低地力ほ場）と基肥量の再点検（粘土質土壌等の高地力ほ場）を行いましょ ③5月10日以降田植えとし、8月5日以降の出穂を目指しましょう（4月20日以降播種）。過晩植は是正しましょう（5月末迄） ④水の更新や夜間落水により、ワキ防止と根の健全化を図りましょ
適期中干しによる生育調整で「倒伏させない稲づくり」	①田植え後1か月を目途に中干し・溝切りを実施ましょ ②本格的な梅雨入り前に地耐力を確保、過剰籾数を抑制ましょ コシヒカリ；地力・排水良否・生育・倒伏懸念状況に応じて2日程度早めに中干しを開始ましょ 夏季高温時の緊急灌水や秋季長雨排水対策、地耐力確保のために中干し用溝の額縁点検を行いましょ ③“小ヒビ”中干しを基本とし、軟弱圃場では強め中干しでコンバイン収穫の地固めをましょ
的確な生育診断と倒伏させない穂肥で「高温に強い稲づくり」	①葉色による穂肥診断とドローン活用で、ほ場生育の均一化を目指ましょ ②高温に耐えられる後期栄養の確保で背白粒等の白未熟粒の発生を防ぎましょ →1回目穂肥は葉色・草丈で生育診断、2回目は確実に、3回目は必要に応じ施用 →コシヒカリは地力・生育に応じた倒伏させない穂肥と出穂3日前迄の後期栄養を補給ましょ ③品質と良食味を兼ね備えた適正玄米タンパク質含量（コシヒカリ:5.5～6.0%）
高温気象下における「こしいぶきの高品質安定生産」	①完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填と生育の大型化 ②健苗育成と適正栽植株数（60株以上/坪）、深植えを是正し良質茎・穂数を確保ましょ ③生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始ましょ ④積極的穂肥による後期栄養確保上限補給で品質・収量を両立ましょ
こまめな水管理で「粒張りのよいおいしい米づくり」	①飽水管理又は間断かん水を徹底し、根の活力、葉色及び地耐力を確保ましょ ②台風・フェーン時は事前灌水し、水温上昇を抑えるこまめな水管理を行いましょ ③最終かん水日は出穂後25日以降とし早期落水をしないようにましょ
少ない農薬使用で効果的な雑草・病害虫防除	①初中期一発剤・中後期剤により水田内雑草を効果的に防除ましょ ②いもち病及び紋枯病は予防防除が基本です（フジワンモンカット粒剤、フジワン剤）
適期収穫と丁寧な選別で「全量1等米へ」	①収穫適期情報+②ほ場の籾黄化程度85～90%で収穫適期判断+③高温・フェーン時の過乾燥防止により、胴割粒の発生を防止ましょ（適期収穫・適正乾燥） ②選別網目1.9mmを使用して乳白粒等の未熟粒の混入を防ぎましょ ③収穫適期内に計画的に刈取りを行うために、カントリーエレベーター等の共同乾燥施設を活用ましょ

ブレーキは早めに！

アクセルは遅めにしっかり！

## 2. 育苗作業手順

### (1) コシヒカリの作業計画

作業目安：浸種10日間、催芽2日間、育苗20日間、田植え5月10日以降

作業内容	作業期間
浸種	4月8日（土）開始～4月17日（月）終了
催芽	4月18日（火）開始～4月19日（水）終了
播種	4月20日（木）
育苗	4月20日（木）～5月9日（火）
田植え	5月10日（水）～

## 3. 浸種

(1) 浸種場所 … 浸種水槽に直射日光が当たらないよう屋内等で浸種してください。

(2) 水量 … 水道水などの清水で、水量は種子籾容量の2倍程度にします。

※ 種子籾1kgに対し、水は約3.5ℓになります。 ↓■計算してみましょう。

種子籾	1 kg	4 kg	20 kg	kg
水量	3.5 ℓ	14 ℓ	70 ℓ	ℓ

(3) 水温 … 令和5年は種用の種子籾は水温10℃～15℃、積算水温100℃を目安として下さい。

※注意※① 浸種初期の低水温（10℃未満）は、発芽揃いが悪くなります。  
② エコ・5-5の場合、他の薬剤消毒剤と一緒にしないでください。

(4) 水の交換 … 浸種初日から1日おきに交換してください

※水槽の容量が小さく、種子籾容量の2倍程度の水量確保が難しい場合は、水の交換を毎日行って下さい。

※モミガードC等での薬剤消毒済み種子籾（エコ・5-5栽培でない）は、消毒効果を高めるため、浸種開始から4日間程度は水を入れ替えないで下さい。

(5) 水切り … 浸種期間中に、2回以上行なってください。

必ず、別の台（めざら等）に移して2時間程度水切りして下さい。

## 4. 催芽

(1) 催芽温度 … 30℃（こまめに水温を確認ましょ）

(2) タフブロック剤の処理 … 褐条病・ばか苗病等の予防

※注意：種子籾は温湯消毒済みであっても、褐条病やばか苗病等の発生を防ぐために、エコ・5-5栽培の場合には、必ずタフブロックによる消毒を行ってください。  
タフブロック処理した種子籾は、消毒効果を維持するため、水に浸けたり、洗ったりしないで下さい。

### ①使用方法

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用方法
タフブロック	200倍	催芽時	24時間種子浸漬

### ②タフブロック希釈液の作り方

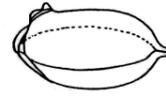
↓■計算してみましょう。

	種子籾4kg当り	種子籾20kg当り	③種子籾	kg当り
薬剤	40 g	200 g	@×10=	g
水量	8 ℓ	40 ℓ	@×2=	ℓ

裏面もご覧ください。

催芽の状態を必ず確認しましょう！

鳩胸程度の催芽



(3) 催芽終了

- ①催芽日数は1～2日を目安に、籾の発芽状態は鳩胸程度とし、発芽率が80%以上になったら終了し、陰干しします。
- ②種子籾の休眠に限らず、必ず催芽状態を確認してください。
- ③「こがねもち」「わたぼうし」「越淡麗」は発芽しやすいので、芽・根が伸び過ぎないように注意しましょう。

※催芽種子の冷水中での浸漬保管は厳禁です。(酸素欠乏で、根の発育が悪くなります！)

5. 育苗ハウスの準備

積雪の多い地区では、ハウス用地は早めに除雪して育苗ハウスを建て、ハウス内の地温上昇を図って下さい。

育苗ハウス周囲に小排水溝を掘って排水を良くし、育苗中のハウス内の滞水を防いで下さい。(ハウス内の排水が悪いと“ムレ苗”の原因になります。)

6. 消雪後の本田準備 (田面水の排水)

根域の環境改善の為、枕地などで滞水している圃場では、可能な限り小溝を切って表面排水に努め、田面の乾燥を早めてください。



【参考】H29年度宮内地域品質向上プロジェクト「砂利採取後排水不良ほ場の排水対策」  
実証圃の本田準備排水状況 (H29 JA 越後ながおか、六日市)

7. エコ・5-5 運動遵守事項

- (1) 『令和5年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」(栃尾・山古志地区)』を必ず遵守して下さい。基準を満たせない場合は「エコ・5-5 米」として販売が出来ないため、慣行栽培米としての扱いになりますので注意願います。
- (2) JA育苗センターで播種した苗は全て「箱処理剤施用済み」ですので注意して下さい。
- (3) 作付け前(前年収穫後から)の圃場内に、除草剂等農薬は一切使用できません。
- (4) エコ・5-5 コシヒカリは選別網目1.9mmが要件となっています。
- (5) 「エコ・5-5 圃場看板」を、必ず設置してください。  
3月末頃に看板を配布します。4月20日までに設置をお願いします。

お問い合わせ先 ながおか営農センター ☎0120-915882 とちお営農センター ☎0120-915885

令和5年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬 使用基準」【栃尾・山古志地区】

農薬は、各剤1つの剤型のみ使用できます。

●=使用可能(重点品目) ○=使用可能 ×=使用不可 \_\_\_\_\_=新規

		農薬・肥料名	コシヒカリ	その他
育苗箱の消毒		イチバン	○	○
種子消毒(催芽時)		タフブロック	●	●
水田初期病害虫防除		Dr.オリゼプリンススピノ粒剤	●	●
水田 除草剤	初期剤	ソルネット1キロ粒剤または エリジャン(乳剤・ジャンボ)	○	×
	初中期一発剤	カウシルエナジ- (1キロ粒剤・ジャンボ・フロアブル)	●	●
	中後期剤	クリンチャー (1キロ粒剤・EW・ジャンボ)	○	×
		クリンチャーバス ME 液剤	※1	×
		バサグラン (粒剤・液剤)	○	○
害虫防除(共同防除)		スタークル (液剤10・粒剤・豆つぶ)	●	●
いもち病防除		フジワン (粒剤・1キロ粒剤・パック・乳剤・水和剤)	×	×
		フジワンモンカット粒剤	×	×
紋枯病防除		モンカット粒剤・フロアブル	×	×
紋枯病防除		バリダシン (液剤5・粉剤DL・エア-)	○	○
いもち病防除		ブラシン (フロアブル・粉剤DL)	×	○
		カスミン液剤	○	○
稲こうじ・墨黒穂病防除		ドイツボルドーA または Z ボルドー粉剤DL	○	○

※1「クリンチャーバス ME 液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグランの使用はできませんのでご注意ください。

※ 農薬の使用にあたっては登録内容を遵守してください。

育苗	「稚苗苗代配合」	○	○
	「ホ-ネンス培土1号」、「ホ-ネンス培土1号Si」、「くみあい液肥2号」、「べんとう肥」	●	●
土づくり	完熟発酵ケイフン(イセ有機)、牛ふん、豚ふん、みつパワ-ソイルミスター(ニュー-米スター)、ようりんケイカル、マルチサポートFe、農力アップ等	●	●
基肥	「けい酸入りエコ・5-5 専用元肥」または「フレーバーペースト734」	●	●
	味好2号、フジミペレット731、みらい有機831	○	○
全量基肥料	「越後の輝き有機50スーパー元肥」(早生用)、 「越後の輝き有機50スーパー元肥ロング」(コシヒカリ用)	●	●
中間追肥	ウ-ター-シリカ、マルチサポートFe、ス-パ-シリカ、けい酸加里プレミア34 塩化加里、ソイルミスター(ニュー-米スター)、ファイトアップ等	○	○
穂肥	「けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥」	●	●
	味好2号、フジミペレット731、フェザ- MAX、みらい有機831	○	○

# 変動気象にも負けない根張りの良い元気な苗を作しましょう！ 健苗育成による良質茎の早期確保で安定収量を確保しよう！

## 1. 播種

### (1) 播種日

- ・コシヒカリは登熟初期の過高温による品質低下を避けるため、8月5日以降の出穂を目指しましょう。
- ・コシヒカリの出穂期が8月5日以降となるよう、田植日は5月10日以降とします。
- ・5月10日以降の田植えにあわせて、播種日は4月20日以降にしてください。

### (2) 播種量 ～ゆっくり丁寧に播種しましょう～

1箱当り乾籾140g以下(催芽籾175g以下)の薄撒き均播に努めましょう。  
※五百万石、ゆきみらい等の大粒品種は1割増しで播種してください。

### (3) 播種前のかん水 (かん水時の弊害)

かん水不足	床土乾燥・発芽不揃い・籾の浮き上がり
水切り不足	積み重ねた下段の箱が過湿・酸欠をおこす

## 2. 育苗ハウスの管理

温度計を2カ所に設置し(ハウス中央部と苗箱の位置)、温度管理を徹底してください。

**ハウス内が30℃を超えたら必ず換気して下さい！晴天時は急激に温度上昇するので注意！**

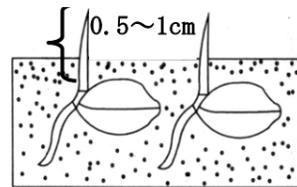
### (1) 播種後～緑化終了期まで：ハウス内温度は(日中)25～30℃、(夜間)15～25℃



【出芽終了のめやす】

被覆資材の中の温度が上がり過ぎないように必ず確認しましょう。

加温出芽の場合の出芽長のめやす



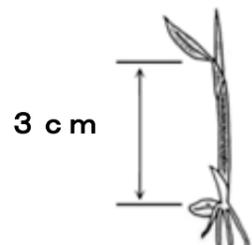
適度(0.5~1cm)



伸ばし過ぎ

### (2) 緑化終了の判断と苗ヤケ防止：ハウス内温度は(日中)20～25℃、(夜間)15～18℃

(緑化終了の目安)



茎の長さが、3cmになったら、育苗シートをとりまします。  
※こしいぶき、ゆきみらい、あきだわらの緑化は1日程度長めで苗丈を確保します。

**“高温・高日射により苗ヤケの心配で迷った時は、被覆資材をはぎましょう！”**

※特に、被覆資材が1重の場合は、苗ヤケに注意！

### (3) 硬化期の温度管理と水管理

期間(目安)	12～13日間
管理	①前半はこまめな温度管理、後半は霜や強風に注意し徐々に外気にならします。 ②1日1回午前10時頃迄、後半は1日2回昼頃までにかん水しましょう。 ★夕方かん水すると育苗箱の床土温度が下がり、根張りが悪くなります。 午後3時以降のかん水は避けましょう！
温度	日中…15～20℃ 夜間…10℃以上

※注意※：プール育苗では気温が高いと水温が上昇して徒長しやすいので、換気に十分留意しましょう。  
緑化が終了し、湛水後は原則として昼夜ともハウスのサイドビニールを開放して下さい。

## 目標とする稚苗の規格苗

苗丈：12cm 葉数：2.0葉 葉色：緑色 第一葉鞘長：3.5～4.0cm  
育苗日数：20日程度  
根張りがよい 苗が太く硬い 病気が無い

苗丈が伸びて軟らかい  
苗の生育にバラツキがある  
葉幅が細い、軟弱徒長

第1葉の長さのバラツキが大きい  
第1葉までの長さが4cmを超え細く伸張している

鞘葉が1cmを超えメソコチルが伸長している

黒ずんだ根がみられたり場所によりマット形成が悪い箇所がある

悪い苗

苗丈：12cm  
葉が直立し硬い感じがする

第3葉がわずかに伸びてきている

第1葉が良く揃っている  
第1葉までの長さ(第1葉鞘長)が3.5～4cm

鞘葉(白く透明)が0.5～1cm程度

根が白く、根の張りが良い  
マット形成がよい

良い苗

### (4) 田植え前の追肥(苗の老化防止と田植え後の活着促進)

①散布時期…田植え4～5日前

②専用肥料(何れか1資材)…「べんとう肥」360g/10a(18～23箱)を散布します。または、「くみあい液肥2号」を270g/10a(18～23箱)かん水します。  
※くみあい液肥2号は肥料ヤケを防ぐために、追肥は夕方に行い、その後、十分にかん水して下さい。

「くみあい液肥2号」の希釈方法(10a当り18箱を使用する場合)

		1箱当たり	100箱当たり	箱
くみあい液肥2号	重量では	15 g	1.5 kg	kg
	容量では	12 ml	1.2 ℓ	ℓ
水		1 ℓ	100 ℓ	ℓ

お問い合わせ先：ながおか営農センター TEL：0120-91-5882  
ながおか西営農センター TEL：0120-91-5883

### 3. 本田の準備

- (1) 表面排水・・・**圃場排水に努め、田を乾かしましょう。** ⇒ 移植後の活着が良くなります！
- (2) 均平化・・・高低差のある圃場は、整地キャリアなどで**均平化に努めましょう。**
- (3) 畦塗り・・・**畦からの漏水を防止しましょう。特に、ネズミ穴に注意！**
- (4) 農道・畦畔に除草剤を使用する際は、薬剤の使用基準を守り、丁寧に散布してください。  
(エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」を必ず遵守してください。)

### 4. エコ・5-5栽培 基肥使用基準

※10a 当たりの上限となる施用量

	けい酸入り エコ・5-5 専用元肥 (10-6-6)	フレーバー ペースト 734 (7-3-4)	越後の輝き有機 50 スーパー元肥・スーパー元肥ロング (12-6-5)
コシヒカリ・こしいぶき こがねもち・五百万石 等	30kg	42kg	47kg
「わたぼうし」のみ	47kg	67kg	64kg

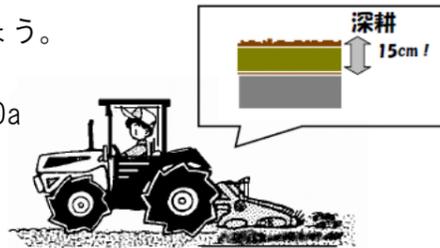
※ 土壌条件に応じ、上限以内で施用量を加減してください。

### 5. 土づくり・耕起

- (1) 耕起では作土深 15cm を確保し、根張り改善を図りましょう（回り耕ち、スタブルカルチ等）
- (2) 「完熟発酵ケイフン（イセ有機）」で地力アップを図りましょう！  
・イセ有機の施用めやす：コシヒカリ 3袋（45kg/10a）、こしいぶき 5袋（75kg/10a）  
◎特に砂質圃場等で地力が低く、例年倒伏が無い圃場では、耕起前に基肥を使用基準量上限まで散布し、さらに「完熟発酵ケイフン」（イセ有機）、または、基肥や穂肥に「味好 2号」、「フジミペレット 731」、「みらい有機 831」での補完をしてください。

- (3) ケイ酸質資材の散布で高温に耐えられる稲体にしましょう。

- ① みつパワー：60～120kg/10a
- ② 粒状ようりんケイカル 14号：120～160kg/10a
- ③ ニュー米スター（ソイル米スター）：30kg/10a
- ④ マルチサポート Fe：40～60kg/10a
- ⑤ 農力アップ：60～100kg/10a



※ ごま葉枯れ病発生圃場や下葉が枯れ上がる“秋落ち”水田では、特にケイ酸質肥料や含鉄土づくり肥料（みつパワー、マルチサポート Fe、農力アップ 等）を散布しましょう。

### 6. 代かき

- (1) 代かき程度・・・水持ちの良い圃場では練り過ぎないことがポイントです。
- (2) 時期・・・田植え 2～3 日前までに行い、土を落ち着かせます。
- (3) 均平度・・・均平化に努め、除草効果の向上や齊一な生育を図って下さい。

### 7. 田植え

- (1) 好天日に田植えをし、活着を早めましょう。
- (2) 田植時期・・・コシヒカリは 5 月 10 日以降田植えが、エコ・5-5 米の要件です。  
(※令和 4 年から特認制度が設けられました。詳細は地区の営農担当へご相談下さい。)  
**※減収防止のため 5 月末までには田植えを終えましょう。**
- (3) 栽植密度・・・コシヒカリ 50 株/坪（低地力で収量が少なく倒伏しない圃場は 60 株/坪）  
**こしいぶき等早生品種 60 株/坪以上**
- (4) 植込本数・・・3～4 本/株になるようツメを調整。**※多苗植えは根が浅くなるので注意！**
- (5) 植付深さ・・・2～3cm **※深植えすると活着・分けつの発生が遅れるので注意！**
- (6) 箱施用剤の施用 <<長岡地区>>

エコ・5-5 での 使用可能品種	適用害虫名	使用薬剤	使用量	使用方法	使用時期
「わたぼうし」 以外の品種	イネアオムシ(フタオビコヤガ) イネミスゾウムシ幼虫、 イネドロイムシ、ニカメイチュウ等	ゼロカウント粒剤	50g/ 箱	床土混和	播種前
				箱上散布	播種時覆土前 ～移植当日
「わたぼうし」	いもち病等 イネアオムシ(フタオビコヤガ) イネミスゾウムシ、イネドロイムシ、 ニカメイチュウ等	Dr.オリゼ フェルテラ粒剤	50g/ 箱	箱上散布	緑化期～ 田植当日

※JA 育苗センター苗は箱処理済みですので、ご注意ください。

**箱施用剤使用の際は、育苗ハウスに残留しないよう注意しましょう。**

### 8. エコ・5-5 用水田除草剤

薬剤名		10a 当たり 使用量	使用時期（農薬登録）	
初期 剤	ソルネット 1 キロ粒剤※	1kg	移植時～ルエ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～ <b>移植前 7 日まで</b>	
	エリジャン ※	乳 剤	300ml	移植直後～ルエ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～ <b>移植 7 日前まで</b>
ジャンボ		300g	移植直後～ルエ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～ <b>移植前 7 日まで</b>	
一 発 剤	カウンシル エナジー	1 キロ粒剤	移植時～ルエ 3.5 葉期（但し、移植後 30 日まで）	
		フロアブル		500ml
		ジャンボ		400g

※作付品種が前年と変更になる場合は、初期剤（ソルネット、エリジャン）を散布し、前年秋の落下籽による混種を防止しましょう！（特にうるち⇒もちへの変更では必ず実施してください。)

#### エコ・5-5 栽培での注意点

- ① ソルネット又はエリジャンは、何れか 1 つの剤型のみ使用できます。
- ② 「わたぼうし」では初期剤を使用できません。

<<水管理の方法>>

粒 剤	水深 5cm 程度で、散布後 4～5 日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7 日間の止水管理 ⇒その後は通常管理
フロアブル ジャンボ	水深 6cm 程度で、散布後 4～5 日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7 日間の止水管理 ⇒その後は通常管理

※ 散布後 4 日以降に水が切れたら、静かに差し水を行います。

※ エコ・5-5 運動参加圃場では、栽培指針に基づいた施用を行って下さい。

# 変動気象にも負けない根張りの良い元気な苗を作しましょう！ 健苗育成による良質茎の早期確保で安定収量を確保しよう！

## 1. 播種

### (1) 播種日

- ・コシヒカリは登熟初期の過高温による品質低下を避けるため、8月5日以降の出穂を目指しましょう。
- ・コシヒカリの出穂期が8月5日以降となるよう、田植日は5月10日以降とします。
- ・5月10日以降の田植えにあわせて、播種日は4月20日以降にしてください。

### (2) 播種量 ～ゆっくり丁寧に播種しましょう～

1箱当り乾籾140g以下(催芽籾175g以下)の薄撒き均播に努めましょう。  
※五百万石、ゆきみらい等の大粒品種は1割増しで播種してください。

### (3) 播種前のかん水 (かん水時の弊害)

かん水不足	床土乾燥・発芽不揃い・籾の浮き上がり
水切り不足	積み重ねた下段の箱が過湿・酸欠をおこす

## 2. 育苗ハウスの管理

温度計を2カ所に設置し(ハウス中央部と苗箱の位置)、温度管理を徹底してください。

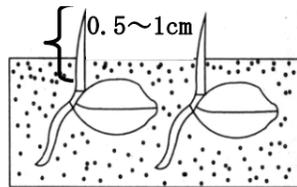
**ハウス内が30℃を超えたら必ず換気して下さい！晴天時は急激に温度上昇するので注意！**

### (1) 播種後～緑化終了期まで：ハウス内温度は(日中)25～30℃、(夜間)15～25℃



被覆資材の中の温度が上がり過ぎないように必ず確認しましょう。

加温出芽の場合の出芽長のめやす



【出芽終了のめやす】



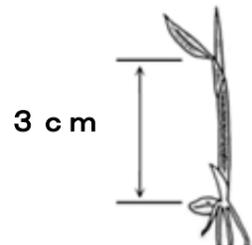
適度(0.5~1cm)



伸ばし過ぎ

### (2) 緑化終了の判断と苗ヤケ防止：ハウス内温度は(日中)20～25℃、(夜間)15～18℃

(緑化終了の目安)



茎の長さが、3cmになったら、育苗シートをとりまします。  
※こしいぶき、ゆきみらい、あきだわらの緑化は1日程度長めで苗丈を確保します。

**“高温・高日射により苗ヤケの心配で迷った時は、被覆資材をはぎましょう！”**

※特に、被覆資材が1重の場合は、苗ヤケに注意！

### (3) 硬化期の温度管理と水管理

期間(目安)	12～13日間
管理	①前半はこまめな温度管理、後半は霜や強風に注意し徐々に外気にならします。 ②1日1回午前10時頃迄、後半は1日2回昼頃までにかん水しましょう。 ★夕方かん水すると育苗箱の床土温度が下がり、根張りが悪くなります。 午後3時以降のかん水は避けましょう！
温度	日中…15～20℃ 夜間…10℃以上

※注意※：プール育苗では気温が高いと水温が上昇して徒長しやすいので、換気に十分留意しましょう。  
緑化が終了し、湛水後は原則として昼夜ともハウスのサイドビニールを開放して下さい。

## 目標とする稚苗の規格苗

苗丈：12cm 葉数：2.0葉 葉色：緑色 第一葉鞘長：3.5～4.0cm  
育苗日数：20日程度  
根張りがよい 苗が太く硬い 病気が無い

苗丈が伸びて軟らかい  
苗の生育にバラツキがある  
葉幅が細い、軟弱徒長

第1葉の長さのバラツキが大きい  
第1葉までの長さが4cmを超え細く伸張している

鞘葉が1cmを超えメソコ  
チルが伸長している

黒ずんだ根がみられたり  
場所によりマット形成が  
悪い箇所がある

悪い苗

苗丈：12cm  
葉が直立し硬い感じがする

第3葉がわずかに伸びてきている

第1葉が良く揃っている  
第1葉までの長さ(第1葉鞘長)  
が3.5～4cm

鞘葉(白く透明)が0.5～1cm程度

根が白く、根の張りが良い  
マット形成がよい

良い苗

### (4) 田植え前の追肥(苗の老化防止と田植え後の活着促進)

①散布時期 … 田植え4～5日前

②専用肥料(何れか1資材)…「べんとう肥」360g/10a(18～23箱)を散布します。または、「くみあい液肥2号」を270g/10a(18～23箱)かん水します。  
※くみあい液肥2号は肥料ヤケを防ぐために、追肥は夕方に行い、その後、十分にかん水して下さい。

「くみあい液肥2号」の希釈方法(10a当り18箱を使用する場合)

		1箱当たり	100箱当たり	箱
くみあい液肥2号	重量では	15 g	1.5 kg	kg
	容量では	12 ml	1.2 ℓ	ℓ
水		1 ℓ	100 ℓ	ℓ

お問い合わせ先：とちお営農センター TEL：0120-91-5885  
ながおか営農センター TEL：0120-91-5882

### 3. 本田の準備

- (1) 表面排水・・・**圃場排水に努め、田を乾かしましょう。** ⇒ 移植後の活着が良くなります！
- (2) 均平化・・・高低差のある圃場は、整地キャリアなどで**均平化に努めましょう。**
- (3) 畦塗り・・・**畦からの漏水を防止しましょう。特に、ネズミ穴に注意！**
- (4) 農道・畦畔に除草剤を使用する際は、薬剤の使用基準を守り、丁寧に散布してください。  
(エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」を必ず遵守してください。)

### 4. エコ・5-5栽培 基肥使用基準

※10a 当たりの上限となる施用量

	けい酸入り エコ・5-5 専用元肥 (10-6-6)	フレーバー ペースト 734 (7-3-4)	越後の輝き有機 50 スーパー元肥・スーパー元肥ロング (12-6-5)
コシヒカリ・こしいぶき こがねもち・五百万石 等	30kg	42kg	47kg
「わたぼうし」のみ	47kg	67kg	64kg

※ 土壌条件に応じ、上限以内で施用量を加減してください。

### 5. 土づくり・耕起

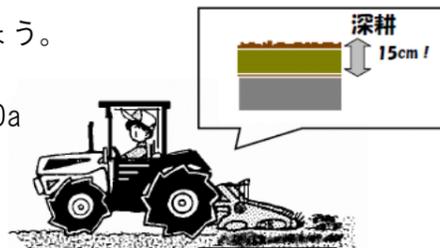
- (1) 耕起では作土深 15cm を確保し、根張り改善を図りましょう（回り耕ち、スタプルカルチ等）
- (2) 「完熟発酵ケイフン（イセ有機）」で地力アップを図りましょう！

・イセ有機の施用めやす：コシヒカリ 3袋（45kg/10a）、こしいぶき 5袋（75kg/10a）

◎特に砂質圃場等で地力が低く、例年倒伏が無い圃場では、耕起前に基肥を使用基準量上限まで散布し、さらに「完熟発酵ケイフン」（イセ有機）、または、基肥や穂肥に「味好 2号」、「フジミペレット 731」、「みらい有機 831」での補完をしてください。

- (3) ケイ酸質資材の散布で高温に耐えられる稲体にしましょう。

- ① みつパワー：60～120kg/10a
- ② 粒状ようりんケイカル 14号：120～160kg/10a
- ③ ニュー米スター（ソイル米スター）：30kg/10a
- ④ マルチサポート Fe：40～60kg/10a
- ⑤ 農力アップ：60～100kg/10a



※ **ごま葉枯れ病発生圃場や下葉が枯れ上がる“秋落ち”水田では、特にケイ酸質肥料や含鉄土づくり肥料（みつパワー、マルチサポート Fe、農力アップ 等）を散布しましょう。**

### 6. 代かき

- (1) 代かき程度・・・水持ちの良い圃場では練り過ぎないことがポイントです。
- (2) 時期・・・田植え 2～3 日前までに行い、土を落ち着かせます。
- (3) 均平度・・・均平化に努め、除草効果の向上や齊一な生育を図って下さい。

### 7. 田植え

- (1) 好天日に田植えをし、活着を早めましょう。
- (2) 田植時期・・・コシヒカリは 5 月 10 日以降田植えが、エコ・5-5 米の要件です。  
**※減収防止のため 5 月末までには田植えを終えましょう。**
- (3) 栽植密度・・・コシヒカリ 50 株/坪（低地力で収量が少なく倒伏しない圃場は 60 株/坪）  
こしいぶき等早生品種 60 株/坪以上
- (4) 植込本数・・・3～4 本/株になるようツメを調整。**※多苗植えは根が浅くなるので注意！**
- (5) 植付深さ・・・2～3cm **※深植えすると活着・分けつの発生が遅れるので注意！**
- (6) 箱施用剤の施用 << 栃尾・山古志地区のエコ全品種 >>

適用害虫名	使用薬剤	使用量	使用方法	使用時期
いもち病、イネミズゾウム イネドロオイムシ、ニカメイチュウ ウンカ類、イナゴ類	Dr.オリゼ・プリンスピノ 粒剤 6	50g/箱	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	移植 3 日前～ 移植当日
フタオビコヤガ				緑化期～ 移植当日

※JA 育苗センターやJA 硬化苗受託者から苗を購入した方は、移植前に箱施用剤の散布はしないで下さい。（箱施用剤散布済みの為）

※JA 栃尾育苗センターから購入する山古志地域のコシヒカリ苗（エコ・5-5 ではない）にはイネドロオイムシ対策として「ファーストオリゼリア箱粒剤」が散布されています。

箱施用剤使用の際は、育苗ハウスに残留しないよう注意しましょう。

### 8. エコ・5-5 用水田除草剤

	薬剤名	10a 当たり 使用量	使用時期（農薬登録）	
初期 剤	ソルネット 1 キロ粒剤※	1kg	移植時～ル・エ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～移植前 7 日まで	
	エリジャン ※	乳 剤	300ml	移植直後～ル・エ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～移植 7 日前まで
ジャンボ		300g	移植直後～ル・エ 1 葉期まで（但し移植後 30 日まで）、植代後～移植前 7 日まで	
一 発 剤	カウシール エナジー	1 キロ粒剤	移植時～ル・エ 3.5 葉期（但し、移植後 30 日まで）	
		フロアブル		500ml
		ジャンボ	400g	移植直後～ル・エ 3.5 葉期（但し、移植後 30 日まで）

※作付品種が前年と変更になる場合は、初期剤（ソルネット、エリジャン）を散布し、前年秋の落下粉による混種を防止しましょう！（特にうるち⇒もちへの変更では必ず実施してください。）

エコ・5-5 栽培での注意点 ①ソルネット又はエリジャンは、何れか 1 つの剤型のみ使用できます。  
②「コシヒカリ以外の品種」は初期剤を使用できません。

<<水管理の方法>>

粒 剤	水深 5cm 程度で、散布後 4～5 日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7 日間の止水管理 ⇒その後は通常管理
フロアブル ジャンボ	水深 6cm 程度で、散布後 4～5 日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7 日間の止水管理 ⇒その後は通常管理

※ 散布後 4 日以降に水が切れたら、静かに差し水を行います。

※ エコ・5-5 運動参加圃場では、栽培指針に基づいた施用を行って下さい。

# 好天日田植えと田植え後の水管理で活着を促進し 早期に良質茎を確保しましょう！

## 1. 田植え

- (1) コシヒカリは、5月10日以降田植えがエコ・5-5米の要件です。  
※令和4年より特認制度が設けられました。申請される場合は、申請期間内【5月1日～5月8日】に申請書の提出をお願いします。詳しくは地区営農担当にご相談ください。  
※長岡地区の中山間地直接支払地域は、「5月10日以降田植」要件の対象になりません。  
※6月に入っての田植えは十分な生育量が確保できず収量が低下します。減収防止のため5月末までには田植えを終えましょう。
- (2) 栽植株数・・・コシヒカリ50株/坪（茎数確保が難しい地域は60株/坪）、こしいぶき等の早生品種、多収性品種は60株以上/坪が目安です。
- (3) 植込本数・・・3～4本/株、植付深さは2～3cmとします。（深植え厳禁！）  
※多苗植えは茎が細く、根は浅く倒伏しやすくなるので注意しましょう。  
※深植えすると、新根や分けつの発生が抑制されるので注意しましょう。

### (4) 箱施用剤の施用 <<長岡地区>>

適用害虫名	使用薬剤	使用量	使用方法	使用時期	エコ・5-5での使用可能品種
イネアオムシ(フタオビコヤカ) イネミスゾウムシ幼虫 イネドロオウムシ ニカメイチュウ等	ゼロカウント 粒剤	50g/箱 ※高密度播種の場合は1kg/10a (50～100g/箱)	箱上散布	播種時覆土前～移植当日	「わたぼうし」以外の品種
いもち病等 イネアオムシ(フタオビコヤカ) イネミスゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ等	Dr.オリゼ フェルテラ粒剤	50g/箱 ※高密度播種の場合は1kg/10a (50～100g/箱)	箱上散布	緑化期～移植当日	「わたぼうし」
				移植3日前～移植当日	
		※1kg/10a	側条施用	移植時	

※J A 育苗センターやJ A 硬化苗受託者から苗を購入した方は、移植前に箱施用剤の散布はしないでください。（箱施用剤散布済みの為）

※側条施用の場合は、専用の機械（側条施薬機）が必要になります。

※箱施用剤施用の際は、育苗ハウスに残留しないよう注意しましょう。

- (5) 補植苗・・・圃場にある補植苗は補植作業が終わり次第、すみやかに処分して下さい。補植苗の放置は、いもち病の発生源となります。

《補植苗の発病状況》



《ずり込み症状》



畦畔から漏水していませんか？

## 2. 本田初期の水管理

- (1) 保温的水管理・・・田植え後は、苗が活着するまで3～4cmのやや深水とします。  
早朝にかん水し、日中は水温を高めて発根・活着を促進しましょう。
- (2) 活着後の水管理 “やや深水管理 ⇄ 浅水管理へ”  
①浅水管理（水深2～3cm）により、分けつの発生を促しましょう。  
②かん水は早朝に行い、日中は止め水により水温・地温の上昇と生育の均一化を図りましょう。  
③低温時や強風時は、深水管理(4～5cm)で苗を保護しましょう。
- (3) ワキ、表層剥離対策  
5月下旬以降にワキや表層剥離などの発生が多く見られる場合は、夜間落水して、早朝に再びかん水しましょう。アオミドロ・表層剥離発生カ所に“田んぼの鉄人”（エコ・5-5栽培使用可能）をスポット散布すると効果的です。

◎「田んぼの鉄人」散布目安  
全面散布で約15kg/10a



## 3. エコ・5-5用水田除草剤（移植水稻）

薬剤名		10a当使用量	使用時期（農薬登録）	
初期剤	※ソルネット1キロ粒剤	1kg	①植代後～ <b>移植前7日まで</b> 、②移植直後～ <b>ル〆E1葉期</b> まで(但し移植後30日まで)、③移植時	
	※エリジャン	乳剤	300ml	①植代後～ <b>移植7日前まで</b> 、②移植直後～ <b>ル〆E1葉期</b> まで(但し移植後30日まで)
ジャンボ		300g		
一発剤	カウンスル エナジー	1キロ粒剤	1kg	①移植時、②移植直後～ <b>ル〆E3.5葉期</b> （但し、移植後30日まで）
		フロアブル	500ml	
		ジャンボ	400g	

※初期除草剤を使用する場合は、河川への流入防止や環境への配慮から、移植前処理を避けて移植時または移植後に使用するようにしましょう。

※作付品種が前年と変更になる場合、初期剤（ソルネット又はエリジャン）を散布し、前年秋の落下粉による混種を防止しましょう！（特にうるち⇒もちへの変更では必ず実施してください。）

※エコ・5-5栽培の「わたぼうし」には初期剤は使用できません。

### 《初期剤・一発剤散布時の注意事項》

★気温が高いと雑草の生育が早くなるので、除草剤の散布時期が遅れないようにしましょう。

粒剤	水深5cm程度で、散布後3～4日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理
フロアブル ジャンボ	水深6cm程度で、散布後3～4日間はそのまに保ち（水を動かさない）、7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理

※ 散布後4日以降に水が切れたら、静かに差し水を行いましょう。

※ エコ・5-5運動参加圃場では、栽培指針に基づいた施用を行いましょう。

### ★機械作業後は泥を落としてから道路へ出ましよう!

トラクター等での農作業の際は、田や畑から公道へ出る前に必ず土を落としてから走行するようお願いします。  
やむを得ず道路に土を落としてしまった場合は速やかに清掃するなど道路利用者が安全に走行できるよう心がけましよう。ご協力をお願いします。



# 好天日田植えと田植え後の水管理で活着を促進し 早期に良質茎を確保しましょう！

## 1. 田植え “好天日に田植えをし、活着を早めましょう！”

(1) 田植時期・・・コシヒカリは、5月10日以降田植えをおすすめします。

※6月に入っての田植えは十分な生育量が確保できず収量が低下します。減収防止のため5月末までには田植えを終えましょう。

(2) 栽植株数・・・コシヒカリ50株/坪（茎数確保が難しい地域は60株/坪）、こしいぶき等の早生品種、多収性品種は60株以上/坪が目安です。

(3) 植込本数・・・3～4本/株、植付深さは2～3cmとします。（深植え厳禁！）  
※多苗植えは茎が細く、根は浅く倒伏しやすくなるので注意しましょう。  
※深植えすると、新根や分けつの発生が抑制されるので注意しましょう。

(4) 箱施用剤の施用 <<栃尾地区>>

適用害虫名	使用薬剤	使用量	使用方法	使用時期
いもち病等 イネミズゾウムシ イネドコロイムシ ニカメイチュウ ウンカ類 イナゴ類	Dr.オリゼ プリンススピノ粒剤6	50g/箱	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	移植3日前～ 移植当日
フタオビコヤガ (イネアオムシ)				緑化期～ 移植当日

※山古志地区のJA供給育苗箱には、イネドコロイムシ対策として「ファーストオリゼリア箱粒剤」が施用済みです。

※JA育苗センターやJA硬化苗受託者から苗を購入した方は、移植前に箱施用剤の散布はしないでください。（箱施用剤散布済みの為）

※箱施用剤施用の際は、育苗ハウスに残留しないよう注意しましょう。

(5) 補植苗・・・圃場にある補植苗は補植作業が終わり次第、すみやかに処分して下さい。補植苗の放置は、いもち病の発生源となります。

<<補植苗の発病状況>>



<<ずり込み症状>>



畦畔から漏水していませんか？

## 2. 本田初期の水管理

山間地では雪解け水が冷たいので、特に漏水防止、保温的水管理に努めて下さい。

(1) 保温的水管理・・・田植え後は、苗が活着するまで3～4cmのやや深水とします。早朝にかん水し、日中は水温を高めて発根・活着を促進しましょう。

(2) 活着後の水管理 “やや深水管理 ⇄ 浅水管理へ”

- ①浅水管理（水深2～3cm）により、分けつの発生を促しましょう。
- ②かん水は早朝に行い、日中は止め水により水温・地温の上昇と生育の均一化を図りましょう。
- ③低温時や強風時は、深水管理(4～5cm)で苗を保護しましょう。

(3) ワキ、表層剥離対策

5月下旬以降にワキや表層剥離などの発生が多く見られる場合は、夜間落水して、早朝に再びかん水しましょう。アオミドロ・表層剥離発生カ所に“田んぼの鉄人”（エコ・5-5栽培使用可能）をスポット散布すると効果的です。

◎「田んぼの鉄人」散布目安  
全面散布で約15kg/10a



## 3. 水田除草剤（移植水稻）

薬剤名		10a当使用量	使用時期（農薬登録）	
初期剤	※ソルネット1キロ粒剤	1kg	①植代後～ <b>移植前7日まで</b> 、②移植直後～ <b>ルゑ1葉期まで</b> （但し移植後30日まで）、③移植時	
	※エリジャン	乳剤	300ml	①植代後～ <b>移植7日前まで</b> 、②移植直後～ <b>ルゑ1葉期まで</b> （但し移植後30日まで）
ジャンボ		300g		
一発剤	カウシルエナジー	1キロ粒剤	1kg	①移植時、②移植直後～ <b>ルゑ3.5葉期</b> （但し、移植後30日まで）
		フロアブル	500ml	
		ジャンボ	400g	

※初期除草剤を使用する場合は、河川への流入防止や環境への配慮から、移植前処理を避けて移植時または移植後に使用するようしましょう。

※作付品種が前年と変更になる場合、初期剤（ソルネット又はエリジャン）を散布し、前年秋の落下糞による混種を防止しましょう！（特にうるち⇒もちへの変更では必ず実施してください。）

※「コシヒカリ以外の品種」では、初期剤を使用できません。

### <<初期剤・一発剤散布時の注意事項>>

★気温が高いと雑草の生育が早くなるので、除草剤の散布時期が遅れないようにしましょう。

粒剤	水深5cm程度で、散布後3～4日間はそのままに保ち（水を動かさない）、7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理
フロアブルジャンボ	水深6cm程度で、散布後3～4日間はそのままに保ち（水を動かさない）、7日間の止水管理 ⇒その後は通常管理

※ 散布後4日以降に水が切れたら、静かに差し水を行いましょう。

※ エコ・5-5 運動参加圃場では、栽培指針に基づいた施用を行いましょう。

### ★機械作業後は泥を落としてから道路へ出ましよう！

トラクター等での農作業の際は、田や畑から公道へ出る前に必ず土を落としてから走行するようお願いいたします。

やむを得ず道路に土を落としてしまった場合は速やかに清掃するなど道路利用者が安全に走行できるよう心がけましよう。ご協力をお願いいたします。

★4月1日～5月31日は春の農作業安全特別運動期間となっております。安全な農作業を心がけましよう。



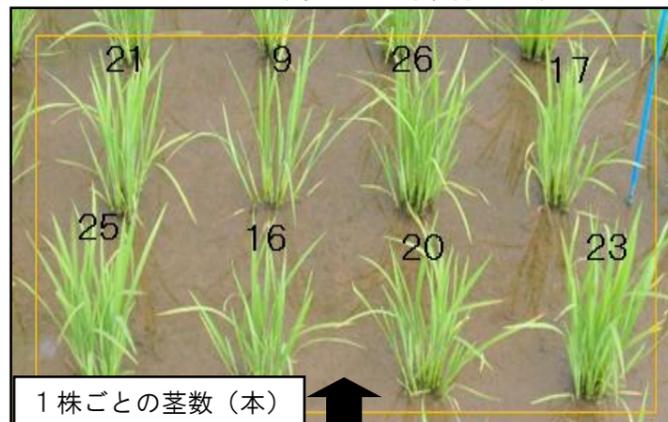
# ほ場(土壌)や生育に応じた適期中干し！ 過剰生育防止のブレーキは早めに！！



コシヒカリ中干し開始適期の状態



写真の状態では、すでに中干し開始時期を  
過ぎていきます(平均20本/株です)



1株ごとの茎数(本)

**中干し開始が遅れないよう  
注意してください！**

## 1. 中干し・溝切り時期のめやす

- 田植え後30日をめやすに落水し中干しを開始しましょう。  
田植時期が遅い場合、本格的な梅雨時期と重なるため、早めに中干しを開始しましょう。
- 中干し程度は、**田面に小ヒビが入る程度**とし、大ヒビの入る強い中干しは避けましょう。
- 中干し期間は**2～3週間**をめやすとしましょう。  
※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏・品質低下が助長されます。

【エコ・5-5 コシヒカリ】注) ( )内は本/株

地区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/m <sup>2</sup>	中干し開始のめやす		中干し終了の晩限
			茎数	時期	
長岡地区 (50株/坪)	5月10～15日	340(22)	15本/株	6月10日	7月5日
	5月20日以降			6月15日	

【エコ・5-5 こしいぶき】注) ( )内は本/株

地区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/m <sup>2</sup>	中干し開始のめやす		中干し終了の晩限
			茎数	時期	
長岡地区 (60株/坪)	5月5～10日	350(19)	15本/株	6月10日	6月末

◎こしいぶきは生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始しましょう。

◎**地力が高い、排水が悪い、例年倒伏が懸念されるほ場(重粘土壌等)**の場合は、上記のめやすより2日程度早く中干しを開始し、早めの溝切りとやや強めの中干しにより穂数過剰の抑制と倒伏防止を図りましょう。

◎**砂壤土等の水はけのよい低地力ほ場**では、茎数が少ない段階で中干しに入ると穂数確保ができず少収となる場合があるので、**目標穂数の8割を確保した段階で中干しに入**りましょう。

【コシヒカリ:18本/株(50株植え)、こしいぶき:15～16本/株(60株植え)】

## 2. 中干し・溝切りの効果

- 過剰生育を抑制し、品質向上に役立ちます。
- 倒伏軽減効果があり、品質向上に役立ちます。
- 土壌への酸素供給により根を健全化します。
- 秋のコンバイン収穫作業が可能な地耐力を確保できます。
- 溝切りによりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能となります。
- 溝切りにより秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能となります。

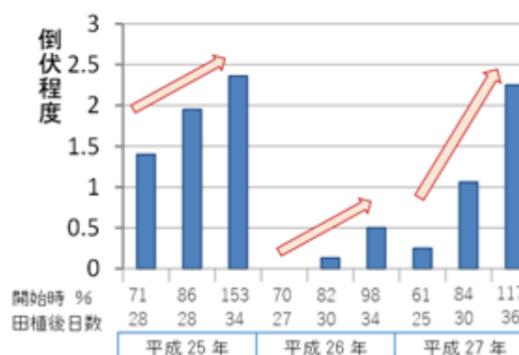
※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏が助長されます。

中干しが不十分だと、総穂数が過剰傾向となり、乳心白等の未熟粒や玄米タンパク質含有率は高くなります。特に早生品種の大豆作付後圃場や基盤整備後圃場では生育過剰になりやすいため、早めに中干しを開始し、生育調節を行いましょう。



## 3. 中干しが遅れた場合の影響

中干し開始が遅くなるほど、成熟期の倒伏程度は大きくなります。



中干し開始時期が遅くなると倒伏が増加する

図 中干し開始時期と成熟期の倒伏  
(作物研究センター)

※有機50%肥料栽培、平成25～27年。開始時%は目標穂数(350本/m<sup>2</sup>)に対する中干し開始時の茎数の比率。田植後日数は中干し開始時

## 4. 中干し・溝切りの方法と点検

- 中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度まで行います。



ヒビ割れが大きいと、根が切れてしまいます！



“うわ根”の形成と根の活力維持

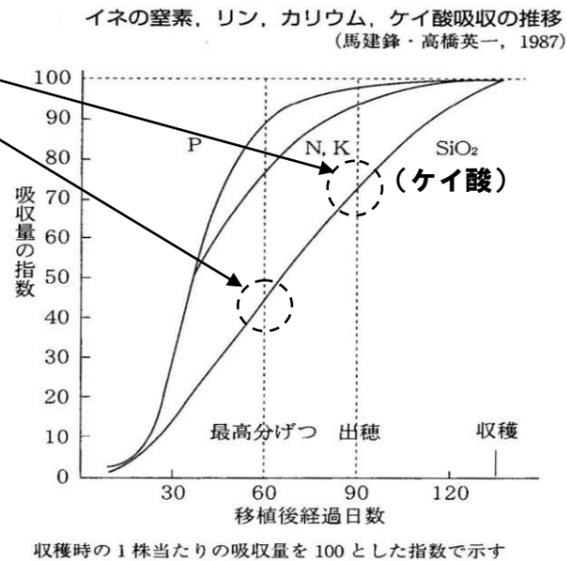
穂肥の効果を十分に発揮させる為、“うわ根”を切断しない「小ヒビ中干し」を行いましょう。

- 溝の間隔は2.5m、深さは10cm程度を確保し、溝の末端は必ず排水口につなげて下さい。
- 毎年苦勞するほ場の軟らかい所は、溝の間隔を狭くして溝数を増やすと効果的です。
- 中干し溝の額縁点検(収穫時地耐力確保、高温時の短時間かん水、秋の長雨対策)  
※ 天候不順な年ほど効果大！ 溝は、必ず排水口につなげましょう。

## 4. ケイ酸肥料の散布

- (1) 水稻は、ケイ酸を積極的に吸収する「好ケイ酸植物」です。  
健全な稲体づくりに向けてケイ酸肥料を施用しましょう。

◎ケイ酸の吸収は生育前期よりも生育後期の方が多く、最高分けつ期頃で50%、出穂期以降も生育期間全体の30%近くが吸収されます。



- (2) ケイ酸肥料の効果

- ① 光合成を促進して、品質向上に役立ちます。
- ② 耐倒伏性の向上に役立ちます。
- ③ 籾が丈夫になることで、「ふ割れ」やカメムシ被害の軽減に役立ちます。
- ④ ごま葉枯れ病の抑制に役立ちます。
- ⑤ 高温下での品質低下を防ぎます。

- (3) 散布時期

6月末～7月上旬(幼穂形成期前)

※稲がケイ酸を吸収するには水が必要です。ケイ酸肥料を散布の際は、ほ場に水を入れましょう。

- (4) 主なケイ酸肥料【令和5年5月現在の税込価格】※表示価格は当用未収配達価格です。

**けい酸加里プレミア 34**

施用量：20～60 kg/10a  
ケイ酸成分：34%  
価格：4,120円  
規格：20kg

加里、苦土、ほう素を含むケイ酸肥料

**みつパワー**

施用量：40～60 kg/10a  
ケイ酸成分：25%  
価格：1,320円  
規格：20kg

鉄、マンガン等を含むケイ酸肥料

**スーパーシリカプレミアム**

施用量：20～40 kg/10a  
ケイ酸成分：30%  
価格：1,710円  
規格：20kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

**ウォーターシリカ**

施用量：15～30 kg/10a  
ケイ酸成分：17%  
価格：3,590円  
規格：15kg

水口施用が可能な省力型肥料

**ニュー米スター**

施用量：15～30 kg/10a  
ケイ酸成分：32%  
価格：1,630円  
規格：15kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

**マルチサポートFe**

施用量：20～40 kg/10a  
ケイ酸成分：12%  
価格：1,710円  
規格：20kg

ケイ酸と鉄を主体とした総合微量要素肥料

## 5. 雑草対策

- (1) 取り残したヒエ以外の雑草は、「バサグラン」で除草しましょう。  
※エコ・5-5運動参加圃場では、全域・全品種でバサグランを使用できます。
- (2) 取り残したヒエは、「クリンチャー」で除草しましょう。  
※エコ・5-5運動参加圃場では、長岡地域全品種と栃尾・山古志地域コシヒカリのみクリンチャーを使用できます。  
(1<sup>ホ</sup>粒剤・EW(乳剤)・ジャンボ剤のいずれかの剤型1回のみ使用できます。)
- (3) クリンチャーバスME液剤【長岡地区エコ・5-5運動取組圃場での注意】  
「クリンチャーバス ME 液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグラン単剤での使用はできません。
- (4) 畦畔除草(斑点米カメムシ対策)  
カメムシ類を防ぐには、稲の生育期間を通して雑草の穂が出穂しないよう管理することが大切です。特にイネ科雑草、水田内のイヌホタルイは産卵場所であり、種子(穂)はエサでもあるため特に注意しましょう。  
除草剤を散布する場合は、畦畔散布に登録がある除草剤を使用し、農薬ラベルに記載してある使用方法を守って散布して下さい！
- 【注意】農道・畦畔で除草剤を散布する際は、必ず風の無い時間帯に飛散防止ノズルを付けて散布し、飛散しないよう十分注意して下さい。

**草刈り4つの効果**

- ① エサをなくす
- ② すみをなくす
- ③ 産卵場所をなくす
- ④ 薬剤をかかりやすくする

## 6. 病害防除

■長岡地区エコ・5-5運動取組圃場で使用できる「いもち病」・「紋枯病」防除農薬

薬剤名	適用病害	使用量	散布時期
フジワン モンカット粒剤	いもち病 紋枯病	3～4kg/10a	出穂 30～10 日前、但し、収穫 30 日前まで
フジワン粒剤 1キロ粒剤 パック 乳剤 水和剤	いもち病	3～5kg/10a	葉いもち：初発 7 日～10 日前、穂いもち：出穂 10～30 日前、但し、収穫 30 日前まで (パックは収穫 14 日前まで)
		1～1.5kg/10a	
		10～15 個/10a	
		1000 倍 60～150ℓ/10a	収穫 14 日前まで
モンカット粒剤	紋枯病	3～4kg/10a	出穂 30～10 日前、但し、14 日前まで

### 【使用方法】

- ・湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布し、3～4日は湛水状態を保つ。
- ・使用回数はいずれの薬剤も1回のみ。

### ※注意※

- ①フジワンモンカット粒剤を使用した場合は、フジワン剤及びモンカット粒剤は使用できません。
- ②わたぼうしは、フジワン剤のみ使用可能です。



越後ながおか地区の営農情報 の登録はこちら

方法① ID 検索

[友達追加]>[検索]で  
@498ihzfy を入力

方法② QRコードを読み取る

[友達追加]>[QRコード]で、  
右のQRコードを読み取る。

お問い合わせ先 ながおか営農センター ☎0120-91-5882 ながおか西営農センター ☎0120-91-5883

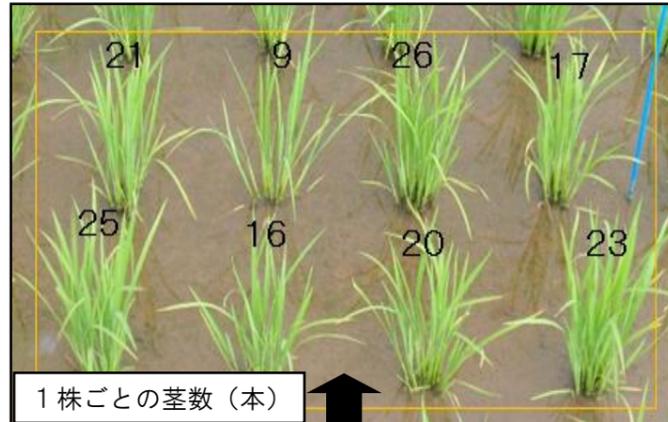
# ほ場(土壌)や生育に応じた適期中干し！ 過剰生育防止のブレーキは早めに！！



コシヒカリ中干し開始適期の状態



写真の状態では、すでに中干し開始時期を  
過ぎていきます(平均20本/株です)



1株ごとの茎数(本)

**中干し開始が遅れないよう  
注意してください！**

## 1. 中干し・溝切り時期のめやす

- 田植え後30日をめやすに落水し中干しを開始しましょう。  
田植時期が遅い場合、本格的な梅雨時期と重なるため、早めに中干しを開始しましょう。
- 中干し程度は、**田面に小ヒビが入る程度**とし、大ヒビの入る強い中干しは避けましょう。
- 中干し期間は2～3週間が目安です。
- 天水田等の用水確保が難しい圃場の場合は、営農センターにご相談ください。

【エコ・5-5 コシヒカリ】注) ( )内は本/株

地区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/m <sup>2</sup>	中干し開始のめやす		中干し終了 の晩限
			茎数	時期	
栃尾・山古志地区 (60株/坪)	5月10～20日	320(18)	13本/株	6月10～15日	7月5日
	5月25日以降			6月20日	7月10日

【エコ・5-5 こしいぶき】注) ( )内は本/株

地区 (栽植密度)	移植期	目標穂数 本/m <sup>2</sup>	中干し開始のめやす		中干し終了 の晩限
			茎数	時期	
栃尾地区 (60株/坪)	5月5～10日	350(19)	15本/株	6月10日	6月末

◎こしいぶきは生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始しましょう。

◎**地力が高い、排水が悪い、例年倒伏が懸念されるほ場(重粘土壌等)**の場合は、上記のめやすより2日程度早く中干しを開始し、早めの溝切りとやや強めの中干しにより穂数過剰の抑制と倒伏防止を図りましょう。

◎砂壤土等の水はけのよい低地力ほ場では、茎数が少ない段階で中干しに入ると穂数確保ができず少収となる場合があるので、目標穂数の8割を確保した段階で中干しに入りましょう。

【コシヒカリ:14～15本/株(50株植え)、こしいぶき:15～16本/株(60株植え)】

## 2. 中干し・溝切りの効果

- 過剰生育を抑制し、品質向上に役立ちます。
- 倒伏軽減効果があり、品質向上に役立ちます。
- 土壌への酸素供給により根を健全化します。
- 秋のコンバイン収穫作業が可能な地耐力を確保できます。
- 溝切りによりフェーン等の緊急時の迅速なかん水が可能となります。
- 溝切りにより秋の長雨による停滞水の容易な排水が可能となります。

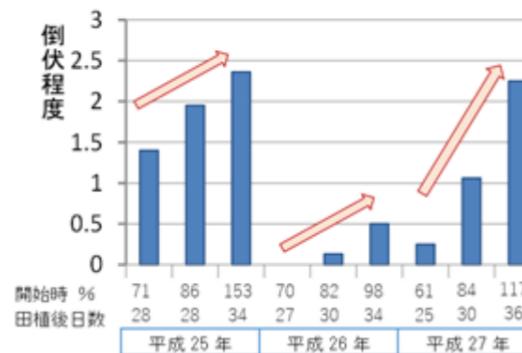
※中干しが不十分であると、生育が過剰傾向となって倒伏が助長されます。

中干しが不十分だと、総穂数が過剰傾向となり、乳心白等の未熟粒や玄米タンパク質含有率は高くなります。特に早生品種の大豆作付後圃場や基盤整備後圃場では生育過剰になりやすいため、早めに中干しを開始し、生育調節を行いましょう。



## 3. 中干しが遅れた場合の影響

中干し開始が遅くなるほど、成熟期の倒伏程度は大きくなります。



中干し開始時期が遅くなると倒伏が増加する

図 中干し開始時期と成熟期の倒伏 (作物研究センター)

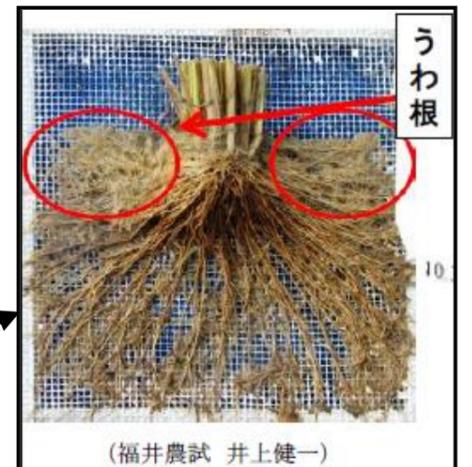
※有機50%肥料栽培、平成25～27年。開始時%は目標穂数(350本/m<sup>2</sup>)に対する中干し開始時の茎数の比率。田植後日数は中干し開始時

## 4. 中干し・溝切りの方法と点検

- 中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡がつく程度まで行います。



ヒビ割れが大きいと、根が切れてしまいます！



“うわ根”の形成と根の活力維持

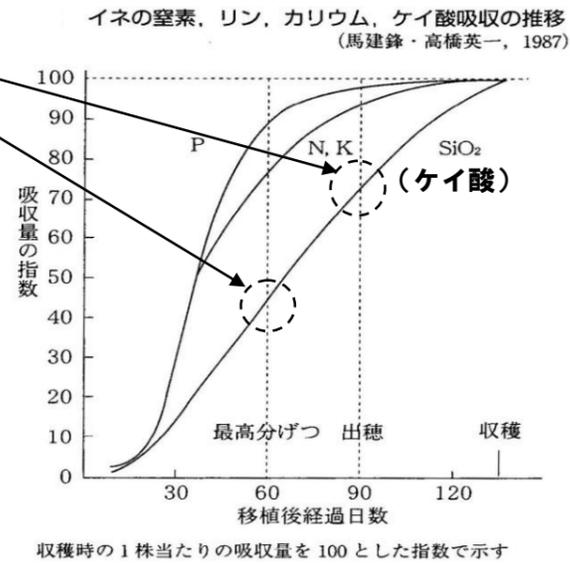
穂肥の効果をも十分に発揮させる為、“うわ根”を切断しない「小ヒビ中干し」を行いましょう。

- 溝の間隔は2.5m程度、深さは10cm程度を確保し、溝の末端は必ず排水口につなげます。
- 毎年苦勞するほ場の軟らかい所は、溝の間隔を狭くして溝数を増やすと効果的です。
- 中干し溝の額縁点検(収穫時地耐力確保、高温時の短時間かん水、秋の長雨対策)  
※ 天候不順な年ほど効果大！ 溝は、必ず排水口につなげましょう。

## 4. ケイ酸肥料の散布

- (1) 水稻は、ケイ酸を積極的に吸収する「好ケイ酸植物」です。  
健全な稲体づくりに向けてケイ酸肥料を施用しましょう。

◎ケイ酸の吸収は生育前期よりも生育後期の方が多く、最高分けつ期頃で50%、出穂期以降も生育期間全体の30%近くが吸収されます。



- (2) ケイ酸肥料の効果

- ① 光合成を促進して、品質向上に役立ちます。
- ② 耐倒伏性の向上に役立ちます。
- ③ 籾が丈夫になることで、「ふ割れ」やカメムシ被害の軽減に役立ちます。
- ④ ごま葉枯れ病の抑制に役立ちます。
- ⑤ 高温下での品質低下を防ぎます。

- (3) 散布時期

6月末～7月上旬(幼穂形成期前)

※稲がケイ酸を吸収するには水が必要です。ケイ酸肥料を散布の際は、ほ場に水を入れましょう。

- (4) 主なケイ酸肥料【令和5年5月現在の税込価格】※表示価格は当用未収配達価格です。

**けい酸加里プレミア 34**

施用量：20～60 kg/10a  
ケイ酸成分：34%  
価格：4,120円  
規格：20kg

加里、苦土、ほう素を含むケイ酸肥料

**みつパワー**

施用量：40～60 kg/10a  
ケイ酸成分：25%  
価格：1,320円  
規格：20kg

鉄、マンガン等を含むケイ酸肥料

**スーパーシリカプレミアム**

施用量：20～40 kg/10a  
ケイ酸成分：30%  
価格：1,710円  
規格：20kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

**ウォーターシリカ**

施用量：15～30 kg/10a  
ケイ酸成分：17%  
価格：3,590円  
規格：15kg

水口施用が可能な省力型肥料

**ニュー米スター**

施用量：15～30 kg/10a  
ケイ酸成分：32%  
価格：1,630円  
規格：15kg

ケイ酸に特化した低コスト肥料

**マルチサポートFe**

施用量：20～40 kg/10a  
ケイ酸成分：12%  
価格：1,710円  
規格：20kg

ケイ酸と鉄を主体とした総合微量要素肥料

## 5. 雑草対策

- (1) 「クリンチャー・バサグランの上手な使い方」(指導会等で配布)を参考にしましょう!

※栃尾・山古志地区のエコ・5-5運動参加圃場でクリンチャー(ヒエ剤)を使用する場合は、コシヒカリのみクリンチャーを使用できます。  
(但し、「クリンチャーバスME液剤」使用の場合、クリンチャー単剤の使用はできません。)  
※全地区・全品種のエコ・5-5運動参加圃場では、バサグランを使用できます。  
(栃尾地区ではコシヒカリ以外の品種は「クリンチャーバスME液剤」は使用できません。)

- (2) クリンチャーバスME液剤

【エコ・5-5運動参加圃場での注意】

- ① 「クリンチャーバスME液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグラン単剤での使用はできません。
- ② 栃尾地区ではコシヒカリ以外の品種は「クリンチャーバスME液剤」は使用できません。

適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		使用方法
		薬量	希釈水量	
水田一年生雑草 ホタルイ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、オモダカ、 クログワイ等	移植後15日～ ノビエ5葉期 但し、収穫 50日前まで	1000ml	70～ 100ℓ	落水散布又は ごく浅く湛水 して散布

【クリンチャーバスME液剤使用上のポイント】

- ① 散布する前に落水状態にして水の出入りをとめる。  
落水ができないところではヒタヒタ水の状態で散布して下さい。
- ② 散布後は少なくとも3日間(浅水処理では5日間)はそのままの状態を保ち、散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水をしないで下さい。
- ③ 散布後に晴天の続く日を選んで散布して下さい。
- ④ 展着剤は加用しないで下さい。



- (3) 畦畔除草(斑点米カメムシ対策)

カメムシ類を防ぐには、稲の生育期間を通して雑草の穂が出穂しないよう管理することが大切です。特にイネ科雑草、水田内のイヌホタルイは産卵場所であり、種子(穂)はエサでもあるため特に注意しましょう。

除草剤を散布する場合は、畦畔散布に登録がある除草剤を使用し、農薬ラベルに記載してある使用方法を守って散布して下さい!

【注意】農道・畦畔で除草剤を散布する際は、必ず風の無い時間帯に飛散防止ノズルを付けて散布し、飛散しないよう十分注意して下さい。

**草刈り4つの効果**

- ① エサをなくす
- ② すみかをなくす
- ③ 産卵場所をなくす
- ④ 薬剤をかかりやすくする

越後ながおか地区の営農情報 の登録はこちら

方法① ID検索

[友達追加]>[検索]で  
**@498ihzfy** を入力

方法② QRコードを読み取る

[友達追加]>[QRコード]で、  
右のQRコードを読み取る。

お問い合わせ先 ながおか営農センター ☎0120-91-5882 とちお営農センター ☎0120-91-5885

## 幼穂形成期・出穂期は平年より1日程度早い見込み！

～ 穂肥を適期に施用し品質向上を図りましょう！ ～

### 1. JA えちご中越 ながおか地区管内の生育状況（6月20日現在）

- ①コシヒカリの生育は移植時期による生育差が大きい。草丈は長く、茎数は少ない。
- ②こしいぶきの生育は早く、草丈は長い。茎数も多く、葉色は並。

	コシヒカリ				こしいぶき			
	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (L)	葉色 (SPAD)	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (L)	葉色 (SPAD)
宮内地域	42	302	8.1	40.7	42	409	9.4	45.3
長岡地域	42	344	8.3	40.2	45	445	9.3	42.2
上川西地域	43	358	8.3	41.6	48	493	9.9	43.8
日越地域	40	322	8.3	39.0	45	488	9.1	42.8
長岡地区全体	42	335	8.3	40.2	45	457	9.4	43.4
生育目標 (6/20)	35	360	8.2	39.0	34	400	8.4	42.0
目標比較 (%±)	120	93	0.1	1.2	132	114	1.0	1.4
前年 (R4)	35	372	8.0	40.4	36	466	8.8	43.8

### 2. 出穂期の予想と穂肥時期の目安

(長岡・平場地域 6月21日現在 長岡農業普及指導センター)

	予想		穂肥時期の目安 (出穂前日数)		けい酸入りエコ・5-5専用穂肥	
	幼穂形成期	出穂期	1回目	2回目		
コシヒカリ	7月10日	8月2日	7月15～18日 (18～15)	7月23日 (10)	上限施用量 18kg/10a	
こしいぶき	6月29日	7月22日	6月29日 (23)	7月8日 (14)		
もち	こがねもち	7月4日	7月27日	7月9～12日 (18～15)	7月17日 (10)	上限施用量 20kg/10a
	わたぼうし	6月27日	7月20日	6月28～30日 (22～20)	7月8～10日 (12～10)	
酒米	五百万石	6月25日	7月18日	6月28日 (20)	7月6日 (12)	上限施用量 18kg/10a
業務用・加工用	ゆきん子舞	6月29日	7月22日	6月27～29日 (25～23)	7月8日 (14)	尿素 1回目:4.5～5.5kg 2回目:4.5～5.5kg 合計 9～11kg/10a
	ゆきみらい	6月24日	7月17日	6月24日 (23)	7月4日 (13)	

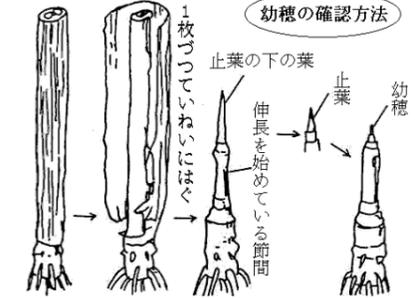
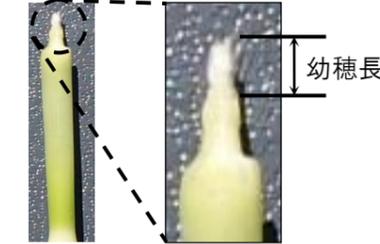
※早生品種は5月1日～5日稚苗移植、中晩生品種は5月10日～15日稚苗移植で予想しています。田植えが5日前後すると、出穂は2日程度前後します。今後の気象条件で予想は変わります。「越淡麗」「あきだわら」「新之助」については後日発表の予定です。

### 3. 幼穂長からの穂肥時期の把握について

幼穂形成期の把握方法 … 幼穂長が0.1cmの頃が幼穂形成期です。(出穂23日前頃)  
幼穂形成期や発育ステージの把握は、ほ場による生育差が大きいため、出穂予想を参考にしつつ、必ず幼穂長を確認し、適期に穂肥を施用してください。

幼穂長	出穂前	生育ステージ	穂肥時期
1～2mm	23～25日	幼穂形成期	こしいぶき等早生品種の1回目
1cm程度	約18日	花粉母細胞分化期	コシヒカリ等中生品種の1回目
10cm程度	約10日	減数分裂期	2回目の穂肥時期

カッターによる幼穂確認



◎茎の基部をカッターで切るか、手で剥いて幼穂を確認してください。

### 4. 「こしいぶき」の穂肥について

- ◎1回目穂肥は遅れない！ ◎2回目は確実に実施する！
- ◎葉色 (SPAD値36、葉色カラースケール4.5) を維持！ (8/10頃まで)
- 【出穂期が7月22日の場合】

<こしいぶき穂肥施用時期>

- 1回目：6月29日頃 (出穂23日前)
- 2回目：7月8日頃 (出穂14日前)

<けい酸入りエコ・5-5専用穂肥施用量>

- 1回目 8kg/10a
- 2回目 10kg/10a

① 砂質土壌や低地力ほ場などで毎年生育量が小さく、後期栄養が不足するほ場では「みらい有機831」又は「味好2号」を施用し、収量・品質の向上を図りましょう。  
※「味好2号」は速効性肥料ではありませんので、地力の低いほ場では出穂前30～25日頃に施用してください。

② 「けい酸入りエコ・5-5専用元肥」を散布量上限 (30kg/10a) まで施用していない場合には、エコ5-5運動特例的対応により基肥施用量上限の化学合成窒素 (N) 残量相当を、穂肥2回目施用時に追加散布しましょう。  
※施用量については、必ず営農センターにご相談下さい。



③ 1・2回目穂肥を散布しても葉色が薄い場合

有機質100%肥料「フェザー-MAX」又は「みらい有機」を追加施用

⇒ 出穂5日前に15kg/10a

<けい酸入りエコ・5-5専用穂肥施用量>

<有機質100%肥料>

- 1回目 8kg/10a + 「みらい有機831」又は味好2号 20kg/10a
- 2回目 10kg/10a + (基肥上限量の窒素(N)残量相当) + 「フェザー-MAX」 15kg/10a

※大豆後・基盤整備後 (盛土部) ほ場では、今後、窒素発現が予想されるため、原則、無施用が減肥するようにしましょう。

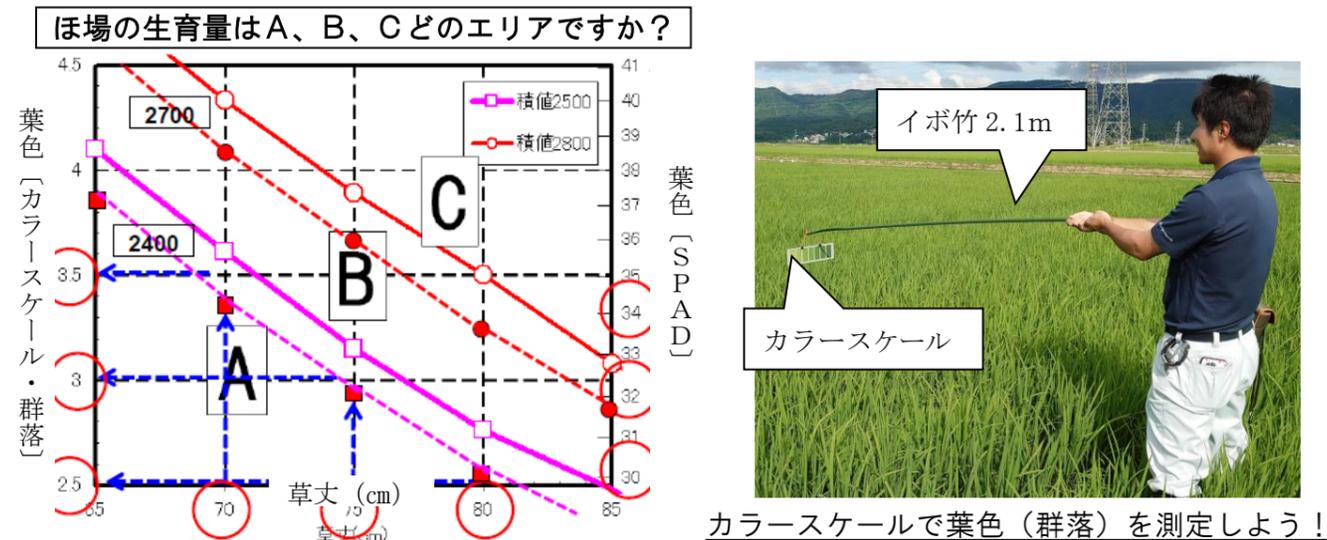
## 5. 「コシヒカリ」の穂肥について

### (1) コシヒカリ幼穂形成期（出穂23日前頃）の生育量（草丈と葉色の積値）による穂肥診断

#### ① コシヒカリ 1 回目穂肥施用の診断とめやす

生育量 早見グラフ のエリア	幼穂伸長期間の気象予報別の穂肥対応		
	低温・少照・多雨	平年並	高温・多照・少雨
<b>A</b>	○△倒伏が心配される場合は、穂肥時期を遅らせ、量を控えめに！	◎出穂18日前に基準量（けい酸入りエコ・5-5専用穂肥8kg/10a）	◎出穂18日前に基準量（けい酸入りエコ・5-5専用穂肥8kg/10a）
<b>B</b>	×施用しない	×施用しない	○出穂15日前に基準量
<b>C</b>	×施用しない	×施用しない	×△施用しない。ただし、異常高温の場合は、早急に基準量

#### ② 幼穂形成期の生育量（草丈と葉色の積値）早見グラフ



※出穂期にかけて低温・少照・多雨が見込まれる場合は、草丈が伸長して倒伏が大きくなる場合があることから、1回目穂肥時期を遅らせたり施用量を減じたり調整して下さい。

※高温・多照・少雨が予想される場合は、葉色がめやすよりやや濃い場合でも、出穂15日前に施用時期を遅らせて、**8kg/10a施用**して下さい。

### (2) 低地力ほ場における穂肥対応

①砂質土壌や低地力ほ場などで例年倒伏がなく後期栄養が不足するほ場では、けい酸入りエコ・5-5専用穂肥に加え、「味好2号」を幼穂形成期頃（出穂23日前頃）に20kg/10aを追加施用し、品質向上を図りましょう。

②「けい酸入りエコ・5-5専用元肥」を散布量上限（30kg/10a）まで施用していない場合には、エコ5-5運動特例的対応により基肥施用量上限の化学合成窒素（N）残量相当を、穂肥2回目施用時に追加散布しましょう。

※施用量については、必ず営農センターにご相談下さい。

③1・2回目穂肥を散布しても葉色が薄い場合

有機質100%肥料「フェザーMAX」または「みらい有機831」を出穂5日前迄に15kg/10aを追加施用しましょう。



### (3) 倒伏防止に向けた高地力、排水不良ほ場における穂肥対応

地力が高く、排水が悪い、例年倒伏が心配されるほ場（重粘土壌等）では、1回目穂肥をパスするか、又は、上記のめやすより3～5日遅く（出穂15～12日前頃）1回目穂肥を施用することにより、倒伏防止を図りましょう。

### (4) コシヒカリの2回目穂肥（出穂前10日頃）の施用

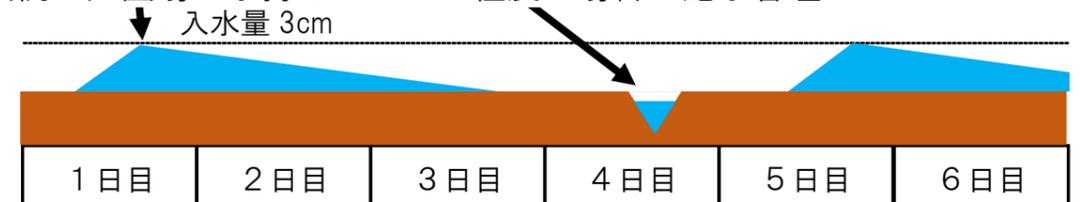
- ①2回目穂肥は、後期栄養を維持するため、専用穂肥10kg/10aを確実に施用しましょう。
- ②高温条件下では、2回目の穂肥は確実に施用し、葉色の維持、登熟向上を図り、品質低下を防止しましょう。
- ③出穂前10日頃の穂肥施用は、稈長の伸長に影響しないので、1回目の穂肥を施用できなかった場合においても、品質低下防止の観点から**確実に施用**しましょう。
- ④1回目穂肥が出穂前18日より遅れた場合は、1回目穂肥の7日後に施用しましょう

## 6. 中干し終了後の飽水管理

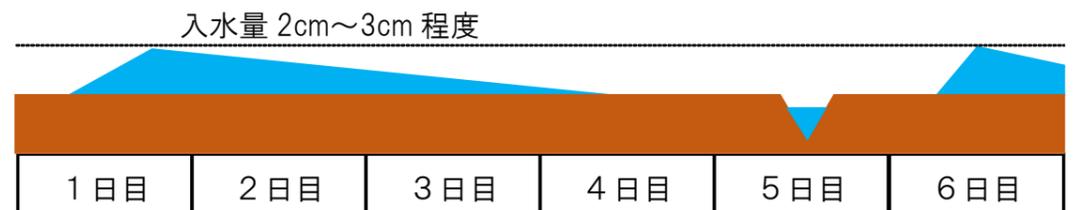
中干しは、出穂の1ヵ月前までには終了し、飽水管理へ移行してください。



(例1) 圃場の水持ち2～3日程度の場合の飽水管理



(例2) 排水不良圃場の場合の飽水管理（水持ち：5日以上）



※日数はあくまで目安です。地域の実情にあった水管理をお願いします。  
※かけ流し等は行わず、限りある用水を地域全体に行き渡るようにしましょう。

<注意> 1回のかん水で3日以上湛水するような水持ちの良いほ場(水はけが悪い)では、湛水状態にせず、3日間湛水・3日間落水を繰り返す**間断かん水**とし、根の活力維持につとめてください。

☆間断かん水☆ 湛水状態と落水状態を数日間隔で繰り返す水管理法。(例：3湛3落等)

## 幼穂形成期・出穂期は平年より1日程度早い見込み！

～ 穂肥を適期に施用し品質向上を図りましょう！ ～

### 1. JA えちご中越 越後ながおか地区管内の生育状況（6月20日現在）

- ① 栃尾地域：草丈は長め、茎数は少なめ、葉色・生育の進みは目標値並み。
- ② 山古志・太田地域：草丈は長め、茎数はやや少なめ、葉色・生育の進みは目標値並み。

	コシヒカリ			
	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (L)	葉色 (SPAD)
栃尾地区全体	41	268	7.8	39.8
山古志・太田	41	288	8.1	39.8
生育目標 (6/20)	37.0	300	7.8	38.0
目標比較 (%±)	111	89~96	0.0~0.3	1.8
前年 (R4)	34	301	7.5	40.9

### 2. 出穂期の予想と穂肥時期の目安

(6月21日現在 長岡農業普及指導センター)

		予想		穂肥時期の目安 (出穂前日数)		施肥量
		幼穂形成期	出穂期	1回目	2回目	
コシヒカリ	栃尾平坦部	7月10日	8月2日	7月15~18日 (18~15)	7月23日 (10)	けい酸入り エコ・5-5 専用穂肥 上限施肥量 18 kg/10a
	栃尾山間部	7月13日	8月5日	7月18~21日 (18~15)	7月26日 (10)	
	山古志・ 栃尾半蔵金	7月15日	8月7日	7月20~23日 (18~15)	7月28日 (10)	
	こしいぶき	6月29日	7月22日	6月29日 (23)	7月8日 (14)	
もち	こがねもち	7月4日	7月27日	7月9~12日 (18~15)	7月17日 (10)	
酒米	五百万石	6月25日	7月18日	6月28日 (20)	7月6日 (12)	
加工用米	ゆきみらい	6月24日	7月17日	6月24日 (23)	7月4日 (13)	

※早生品種は5月1日~5日稚苗移植、中晩生品種は5月10日~15日稚苗移植で予想しています。

田植えが5日前後すると、出穂は2日程度前後します。今後の気象条件で予想は変わります。

※コシヒカリの栃尾山間部、山古志・栃尾半蔵金はJAえちご中越で追加記載。

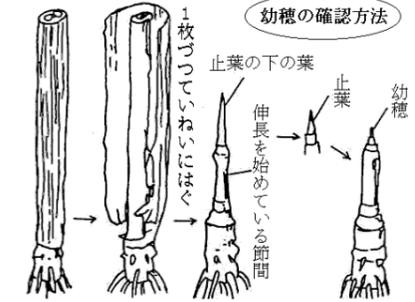
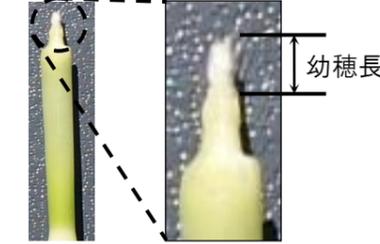
※新之助については後日発表の予定です。

### 3. 幼穂長からの穂肥時期の把握について

幼穂形成期や発育ステージの把握は、ほ場による生育差が大きいので、出穂予想を参考にしつつ、必ず幼穂長を確認し、適期に穂肥を施用してください。

幼穂長	出穂前	生育ステージ	穂肥時期
1~2mm	23~25日	幼穂形成期	こしいぶき等早生品種の1回目
1cm程度	約18日	花粉母細胞分化期	コシヒカリ等中生品種の1回目
10cm程度	約10日	減数分裂期	2回目の穂肥時期

カッターによる幼穂確認



◎茎の基部をカッターで切るか、手で剥いて幼穂を確認してください。

### 4. 「こしいぶき」の穂肥について

- ◎1回目穂肥は遅れない！ ◎2回目は確実に実施する！
- ◎葉色 (SPAD値36、葉色カラスケール4.5) を維持！ (8/10頃まで)

【出穂期が7月22日の場合】

<こしいぶき穂肥施用時期>

<けい酸入りエコ・5-5専用穂肥施肥量>

- 1回目：6月29日頃 (出穂23日前)
- 2回目：7月 8日頃 (出穂14日前)

- 1回目 8kg/10a
- 2回目 10kg/10a

- ① 砂質土壌や低地力ほ場などで毎年生育量が小さく、後期栄養が不足するほ場では「みらい有機831」又は「味好2号」を施用し、収量・品質の向上を図りましょう。  
※「味好2号」は速効性肥料ではありませんので、地力の低いほ場では出穂前30~25日頃に施用してください。

- ② 「けい酸入りエコ・5-5専用元肥」の散布量が上限 (30kg/10a) に達していない場合には、エコ・5-5運動特例的対応として 基肥施用量上限への窒素(N)残量相当 を「けい酸入りエコ・5-5専用穂肥」2回目施用時に追加散布することが可能です。  
※施肥量については、必ず営農センターにご相談願います。

- ③ 1・2回目穂肥を散布しても葉色が薄い場合

有機質100%肥料「フェザーMAX」又は「みらい有機」を追加施用

⇒ 出穂5日前に15kg/10a

<けい酸入りエコ・5-5専用穂肥施肥量>

<有機質100%肥料>

- 1回目 8kg/10a + 「みらい有機831」又は味好2号 20kg/10a
- 2回目 10kg/10a + (基肥上限量の窒素(N)残量相当) + 「フェザーMAX」 15kg/10a

※大豆後・基盤整備後 (盛土部) ほ場では、今後、窒素発現が予想されるため、原則、無施用か減肥するようにしましょう。

## 5. 「コシヒカリ」の穂肥

### (1) コシヒカリ1回目穂肥の実施判断のめやす

#### 【幼穂形成期（出穂23日前）の生育】

草丈70cmの場合：葉色カラスケール3.5以下（SPAD値34以下）  
 草丈75cmの場合：葉色カラスケール 3 以下（SPAD値32以下）  
 草丈80cmの場合：葉色カラスケール2.5以下（SPAD値30以下）

5日後の1回目穂肥施用時  
 （出穂18日前）に、  
 けい酸入りエコ・5-5専用穂肥を  
**8kg/10a 施用可能**です。

※但し、出穂期にかけて低温・少照・多雨が見込まれる場合は、草丈が伸長して倒伏が大きくなる場合があることから、1回目穂肥時期を遅らせたり施用量を減じたり調整して下さい。  
**高温・多照・少雨が予想される場合は、葉色がめやすよりやや濃い場合でも、出穂15日前に施用時期を遅らせて、8kg/10a施用して下さい。**

### 【倒伏防止に向けた高地力、排水不良ほ場における穂肥対応】

地力が高く、排水が悪い、例年倒伏が心配されるほ場（重粘土壌等）では、1回目穂肥をパスするか、又は、上記のめやすより3～5日遅く（出穂15～12日前頃）1回目穂肥を施用することにより、倒伏防止を図りましょう。

### 【低地力ほ場における穂肥対応】

①砂質土壌や低地力ほ場などで例年倒伏がなく後期栄養が不足するほ場では、けい酸入りエコ・5-5専用穂肥に加え、「味好2号」を幼穂形成期頃（出穂23日前頃）に20kg/10aを追加施用し、品質向上を図りましょう。

②1・2回目穂肥を散布しても葉色が淡い場合

有機質100%肥料「フェザーMAX」または「みらい有機831」を出穂5日前迄に15kg/10aを追加施用しましょう。



### (2) コシヒカリの2回目穂肥（出穂前10日頃）の施用

- ① 2回目穂肥は、後期栄養を維持するため、専用穂肥10kg/10aを施用して下さい。
- ② 高温条件下では、2回目の穂肥を確実に施用し葉色の維持、登熟向上を図りましょう。
- ③ 出穂前10日頃の穂肥施用は、稈長の伸長に影響しないため、1回目の穂肥を施用できなかった場合においても、品質低下防止の観点から**確実に施用して下さい。**
- ④ 1回目穂肥が出穂前18日より遅れた場合は、1回目穂肥の7日後に施用しましょう。
- ⑤ 「けい酸入りエコ・5-5専用元肥」の散布量が上限（30kg/10a）に達していない場合には、エコ・5-5運動特例的対応として**基肥施用量上限への窒素(N)残量相当**を「けい酸入りエコ・5-5専用穂肥」2回目施用時に追加散布することが可能です。  
 ※施用量については、必ず営農センターにご相談ください。

**現在、JA集荷施設（CE・RC 除く）での色彩選別処理は行っておりません。**

- ①水田内のヒエ・ホタルイの除草
- ②畦畔及び農道の草刈り・除草
- ③適期薬剤防除 等の斑点米発生防止管理の徹底をお願いいたします。

## 6. 雑草対策 ～斑点米カメムシの入り込む隙を無くす！～

●Check!

2つのポイント!!

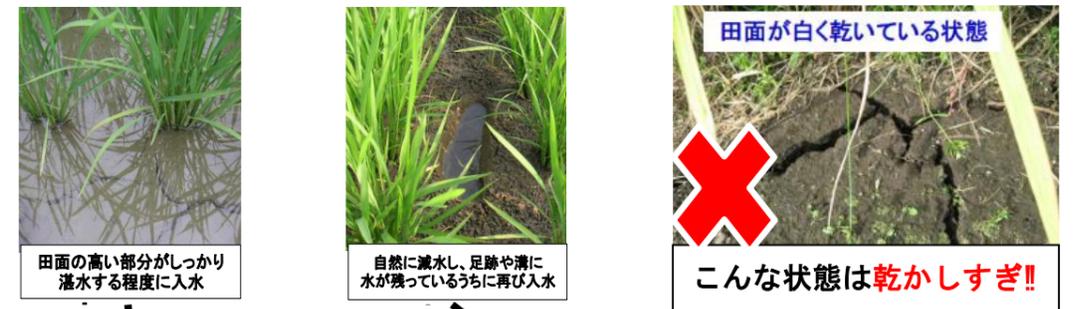
- ポイント① 斑点米カメムシ類は稲穂よりもイネ科雑草の穂の方が好きな傾向があります。  
 ポイント② 草刈りによるイネ科雑草の出穂抑制は最大で3週間です。

水稲の出穂期前後各3週間にイネ科雑草の穂を出させない雑草管理でカメムシの発生密度を下げ、水田内への侵入と加害を防ぎましょう。

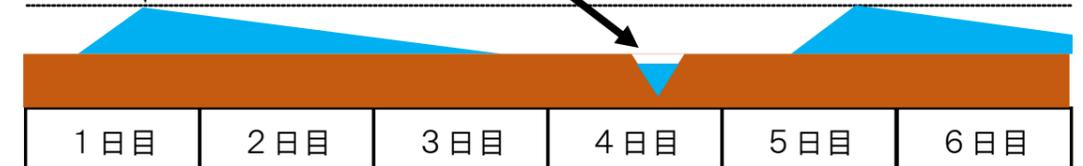


## 7. 中干し終了後の飽水管理

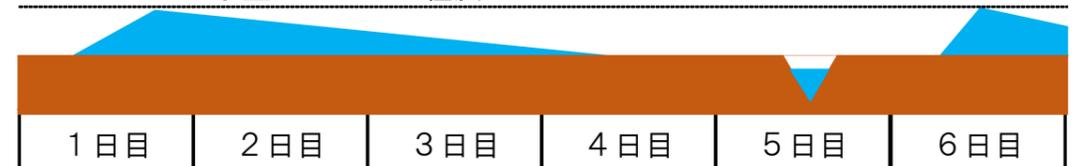
中干しは、出穂の1ヵ月前までには終了し、飽水管理へ移行してください。



(例1) 圃場の水持ち2～3日程度の場合の飽水管理  
 入水量 3cm



(例2) 排水不良圃場の場合の飽水管理（水持ち：5日以上）  
 入水量 2cm～3cm程度



<注意> 1回のかん水で3日以上湛水するような水持ちの良いほ場（水はけが悪い）では、**湛水状態にせず、3日間湛水・3日間落水を繰り返す間断かん水とし、根の活力維持につとめてください。**

☆間断かん水☆ 湛水状態と落水状態を数日間隔で繰り返す水管理法。（例：3湛3落 等）

お問い合わせ先 ながおか営農センター ☎0120-915882 とちお営農センター ☎0120-915883

# 飽水管理の継続で品質向上の総仕上げ！ 最終かん水は出穂後25日以降とし早期落水は避けましょう！

## 1. 登熟期の飽水管理

(1) 根の活力維持と穂肥の効果高める為、飽水管理を継続してください。

- ① 飽水管理を行うことで、白未熟粒の発生を抑制し、整粒歩合を高められます(図1)。
- ② 飽水管理は日中及び夜間の地温の上昇を抑えることができます(図2)。

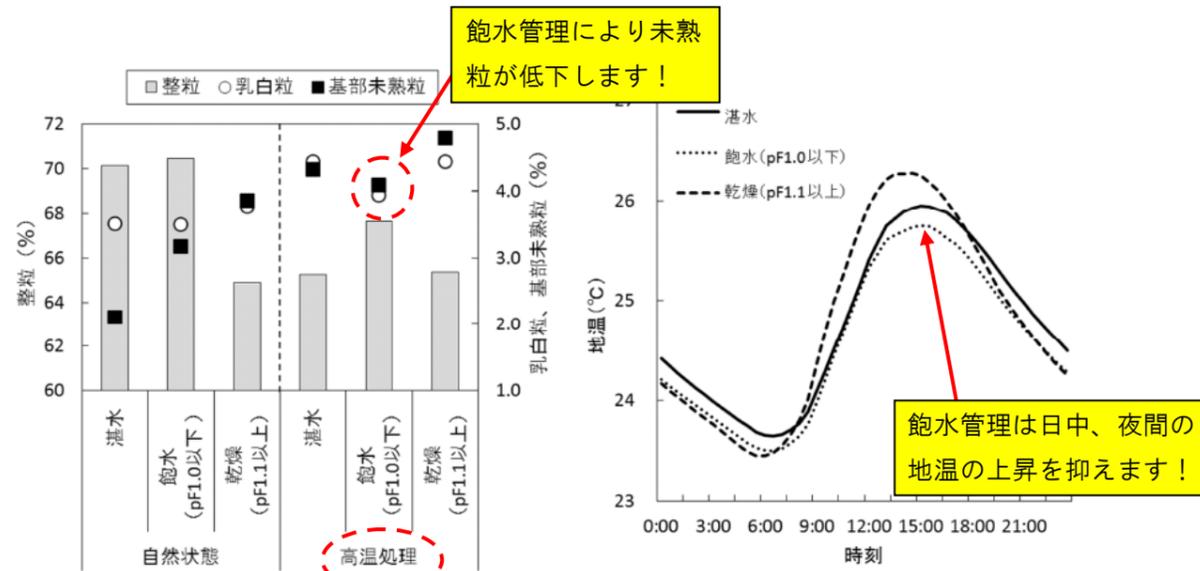


図1 登熟期の水管理と品質の関係 (平成25～26年)

図2 登熟期の水管理と時間別地温の関係 (平成25～26年)

注) 出穂期10日前から25日後までの地温の平均を測定した。

(2) 飽水管理とは

**【再確認！】 飽水管理とは？**

☑ 水尻を止めて入水し、田面の水が自然減水でなくなり、溝や足跡の底に水が溜まっている状態になったら再びかん水し、**土壌の湿潤状態を保つこと。**

※ **水を常に溜める「湛水状態」ではありません。**

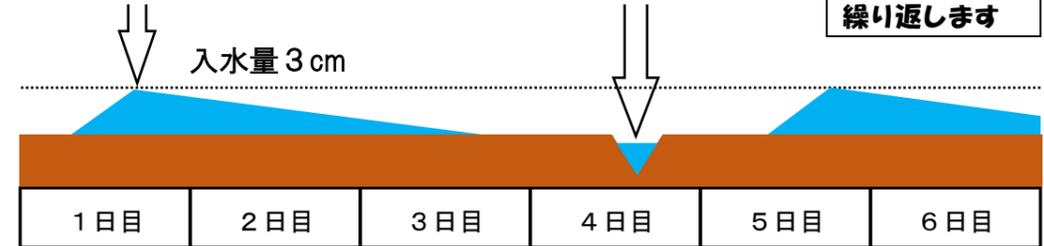
飽水管理 ⇒ **酸素と水を両方供給し、根の活力を維持しましょう。**

(3) 異常高温、強風・フェーンが予想される場合には事前に湛水し、稲体からの急激な蒸散による障害の発生防止に努め、異常高温・フェーン時は水温上昇を抑えるこまめな水管理をしながら品質の高温障害を防ぎましょう。

(4) 飽水管理のイメージ(例) ～ほ場の水持ちが2～3日程度の場合～  
特に、**高温で連続無降雨の時は過度の土壌乾燥に注意してください(大ヒビ厳禁)**  
→ **根を切断し、出穂期以降の葉色低下と品質低下を招きます。**



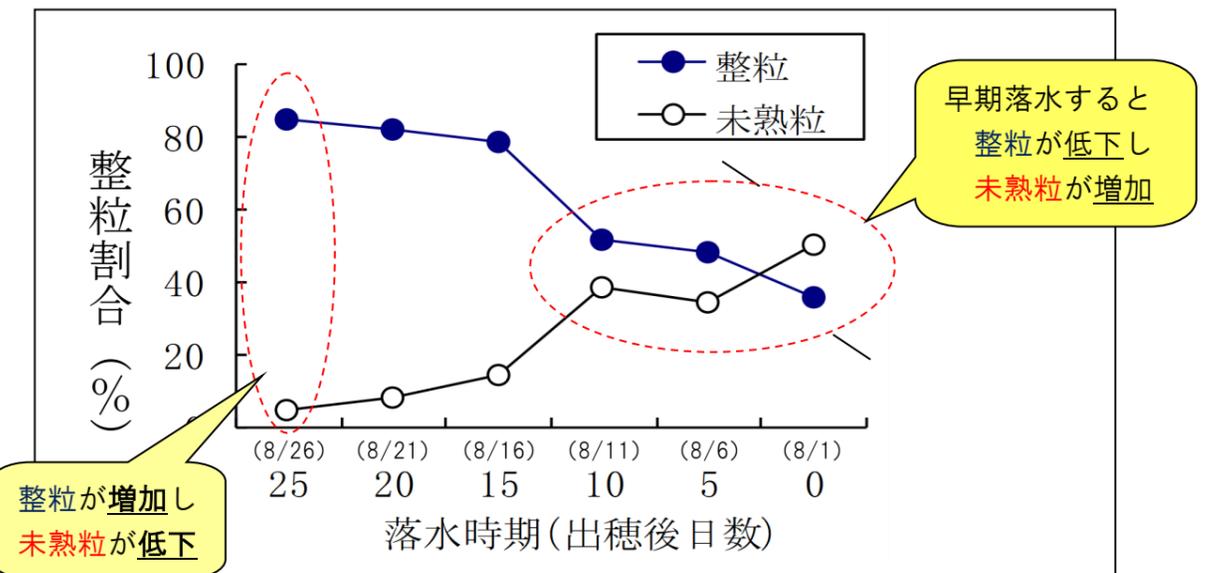
(例) 圃場の水持ち2～3日程度の場合の飽水管理



- ※① 日数はあくまで目安です。地域の実情にあった水管理をお願いします。
- ※② **かけ流し等を行わず、限りある用水を地域全体に行き渡るようにしましょう。**

(5) 最終かん水は出穂後25日以降とし、早期の落水は避けましょう。

- ・早期落水は、下葉の枯れ上がりや倒伏を助長するだけでなく、登熟不良による未熟粒や着色粒を増加させ、品質低下を招きます。また、粒張りが悪く減収につながります。
- ・**コンバイン収穫に支障が生じない範囲で、出穂後25日以降も可能な限りかん水を行い、土壌水分を維持しましょう。暗渠栓の開放は可能な限り遅くしましょう。**



落水時期と品質の関係 (平4、新潟農試)

(6) 毎日の天気予報に加え県からの情報（台風によるフェーン現象発生に関する緊急情報等）を活用し、地域の水利事情にあった適切な水管理を行いましょ。

## 2. 斑点米カメムシ対策

**◎中越地域のアカスジカスミカメ等は、平年値そのものが他地域より高いのでカメムシ斑点米対策を徹底しましょう！**

- ①水田内のヒエやホタルイ等の雑草が結実するとカメムシ類の餌や増殖源となりますので、早めに除去してください。
- ②雑草が出穂・結実する前に、畦畔・農道の除草をしてください。  
・斑点米カメムシは出穂したイネ科雑草（ヒエ・メヒシバ等）を好むため、これらの雑草が畦畔・農道で出穂しないようにすることでカメムシの密度を低く抑えることができます。  
・特に、出穂期前後3週間はイネ科雑草を出穂、結実させないよう草刈りを実施しましょう。  
※高温やフェーン時に枯草が多いと着色粒が発生しやすいので、刈取草は除去して下さい。
- ③スタークル粒剤の散布適期は出穂期～出穂期7日後です。水深3cm程度の浅水で散布してください。

斑点米カメムシ類の水田畦畔すくい取り結果（7/11 新潟県病害虫防除所）

種類	年次	地域別のすくい取り虫数（単位：頭/地点）						
		下越	新潟	中越	魚沼	上越	佐渡	県全体
アカスジカスミカメ	本年 (R4)	1.6 (2.4)	5.8 (2.4)	<b>14.6</b> <b>(10.2)</b>	7.9 (13.0)	3.7 (3.6)	2.7 (8.6)	6.6 (5.8)
	平年	8.6	10.3	20.8	9.3	6.1	11.9	11.6
	平年比	やや少	やや少	<b>並</b>	並	並	やや少	少
アカヒゲホソミドリカスミカメ	本年 (R4)	1.6 (1.4)	0.6 (1.9)	<b>4.4</b> <b>(4.4)</b>	0.9 (8.5)	2.8 (3.6)	0.3 (0.1)	1.9 (3.3)
	平年	3.8	6.2	7.5	7.9	3.1	1.5	5.6
	平年比	やや少	やや少	<b>やや少</b>	やや少	並	やや少	少

【イネ科雑草】



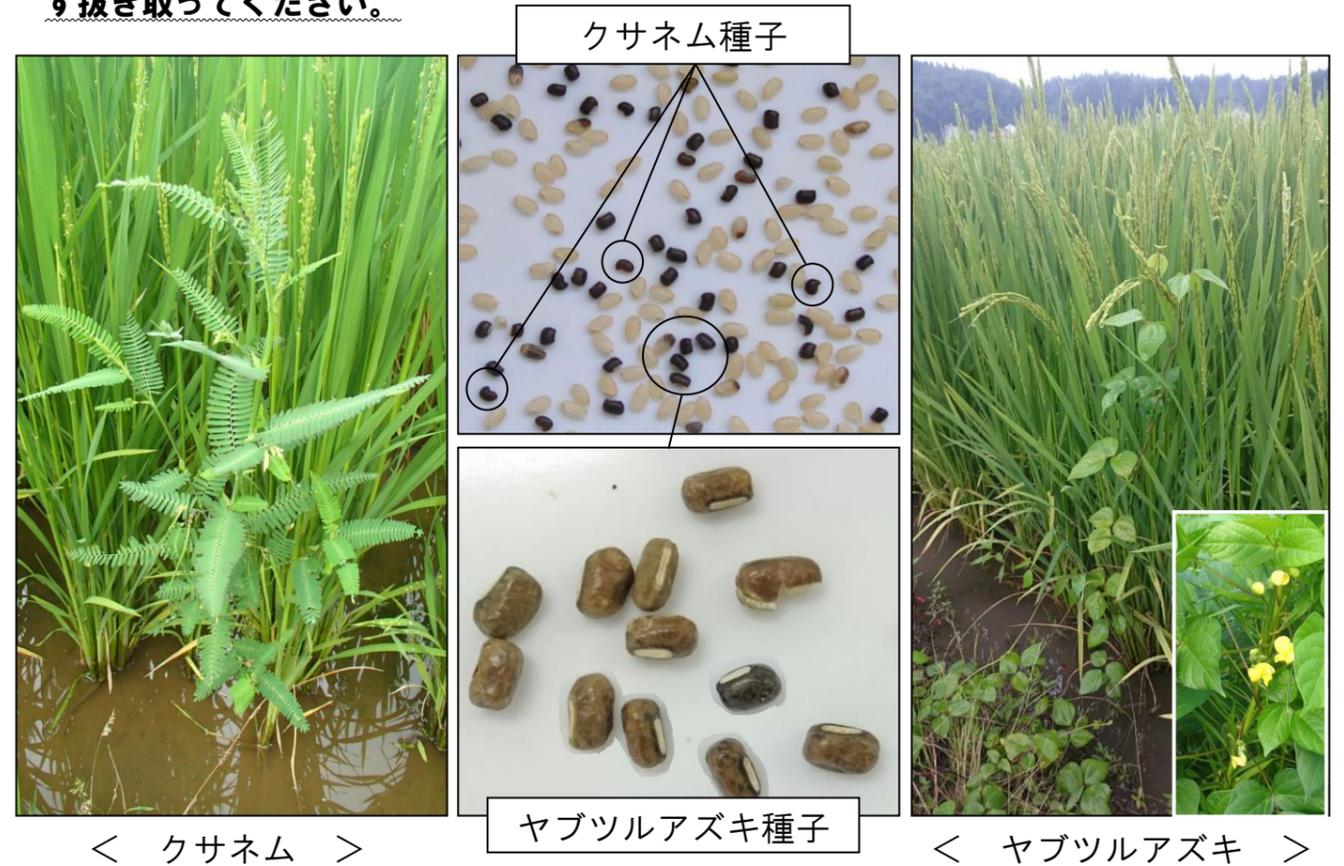
## 3. 穂いもち対策

◎止葉、上位葉にいもち病斑が見られた場合、穂いもちに移行しやすいので注意してください。

- ①新之助で葉いもちの発生が見られた場合は、直ちに茎葉散布による防除を行いましょ。
- ②業務用米の多収穫栽培や慣行栽培で葉いもちの発生が見られた場合は、ブラシフロアブルまたはブラシンゾル等で直ちに防除してください。

## 4. クサネム・ヤブツルアズキ等の雑草は、収穫前に除去してください

クサネム・ヤブツルアズキ等の黒褐色の種子は、大きさ・形が米粒と似ているため、米に混入すると選別できず、米の等級を落とす要因になります。種子をつける前に必ず抜き取ってください。



～ 熱中症や農作業事故に注意してください！ ～

- ◎こまめな水分補給と休息で、熱中症に注意しましょ！
- ◎安全確認、休憩をとるなど安全運転・安全作業に心がけましょ！



お問い合わせ先	ながおか営農センター ☎0120-915882	ながおか西営農センター ☎0120-915883
	とちお営農センター ☎0120-915885	ながおか西(高瀬事務所) ☎0258-27-1880